

大学等名	星薬科大学
プログラム名	HOSHI 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

「情報科学演習」(0.5単位)、情報科学と情報倫理(1.5単位)、情報リテラシー(1.5単位)の合計3.5単位を取得すること。
 ビジネスソフトウェアの基礎と応用(0.5単位)、AI時代のデータサイエンスと倫理(1.5単位)、データサイエンスの理解と応用(1.5単位)の合計3.5単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報科学と情報倫理	1.5	☑	☑	☑					
AI時代のデータサイエンスと倫理	1.5	○	○	○					
データサイエンスの理解と応用	1.5	○		○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報科学と情報倫理	1.5	☑	☑	☑					
AI時代のデータサイエンスと倫理	1.5	○	○	○					
データサイエンスの理解と応用	1.5	○		○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報科学と情報倫理	1.5	☑	☑	☑					
情報リテラシー	1.5	☑	☑	☑					
AI時代のデータサイエンスと倫理	1.5	○	○	○					
データサイエンスの理解と応用	1.5	○	○	○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報科学と情報倫理	1.5	○	○	○					
AI時代のデータサイエンスと倫理	1.5	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報科学演習	0.5	○	○	○							
情報リテラシー	1.5	○	○	○	○						
ビジネスソフトウェアの基礎と応用	0.5	○	○	○	○						
データサイエンスの理解と応用	1.5	○	○	○	○						
AI時代のデータサイエンスと倫理	1.5			○							

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
<p>(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている</p>	<p>1-1 社会で起きている変化を知り、数値・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解するAIを活用した新しいビジネス/サービスを知る ・データサイエンスが注目されている背景(データ量の増加、計算機の処理性能の向上)「情報科学と情報倫理」(第9回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第1回) ・ビッグデータ、データ駆動型社会(ビッグデータの特徴3V、ビッグデータが注目される理由)「情報科学と情報倫理」(第9回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回) ・データを起点としたもの見方(EBM)「情報科学と情報倫理」(第9回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回) ・機械学習と脳のモデル(人間の知的活動とAIの関係性)「情報科学と情報倫理」(第10回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回)</p> <p>1-6 データ・AI活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を知る ・AI等を活用したビジネスモデル(従来のデータ分析との違い、ビッグデータを利用した付加価値の向上)「情報科学と情報倫理」(第9回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第14回) ・AIの最新技術の活用例(大規模言語モデル、GAN)「データサイエンス入門」(第5回) ・社会での応用事例「データサイエンスの理解と応用」(第7～14回) ・深層学習、大規模言語モデルなどのAI最新動向例「情報科学と情報倫理」(第10回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第14回)</p>
<p>(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p>	<p>1-2 どんなデータが集められ、どう活用されているかを知る ・非構造化データ(テキストデータ)「情報科学と情報倫理」(第10回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回) ・人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「情報科学と情報倫理」(第9回、第14回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回) ・ビッグデータとオープンデータ「情報科学と情報倫理」(第9回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回) ・生体情報データ「情報科学と情報倫理」(第14回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第2回)</p> <p>1-3 さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを知る ・データ・AI活用の広がり(行政と統計とデータサイエンス)「情報科学と情報倫理」(第13回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回) ・データ・AI活用の広がり(投資とリスクのデータサイエンス)「情報科学と情報倫理」(第14回)「データサイエンスの理解と応用」(第14回) ・データ・AI活用の広がり(医療)「情報科学と情報倫理」(第14回)「データサイエンスの理解と応用」(第13回) ・データ・AI活用の広がり(医薬品開発)「情報科学と情報倫理」(第14回)「データサイエンスの理解と応用」(第12回) ・機械学習の展開「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回)</p>
<p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p>	<p>1-4 データ・AIを活用するために使われている技術の概要を知る ・データ解析(クラスタリング、ワードクラウド)「情報科学と情報倫理」(第10回)「データサイエンスの理解と応用」(第1～6回) ・データ可視化(ワードクラウド)「情報科学と情報倫理」(第10回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回) ・非構造化データ処理(テキストマイニング、言語処理)「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回) ・推論技術、モデル検査技術「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第7回) ・シミュレーション(マルチスケールモデリング)「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第7回) ・ベイズ推論を用いた予測「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第7回) ・機械学習、AI最新動向「情報科学と情報倫理」(第11回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第14回)</p> <p>1-5 データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを知る ・AI技術の利活用事例(自動走行車)「情報科学と情報倫理」(第12回) ・AI技術の利活用事例(教育)「データサイエンスの理解と応用」(第9回) ・AI技術の利活用事例(金融)「データサイエンスの理解と応用」(第14回) ・データ解析・活用のプロセス「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第6回) ・AI技術の利活用事例(流行予測、疾病マップ)「情報科学と情報倫理」(第12回) ・ヘルスケア等におけるデータ・AIの活用事例「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第14回)、情報リテラシー(第13回、第14回)「データサイエンスの理解と応用」(第11、12、13回)</p>
<p>(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解を促す</p>	<p>3-1 データ・AIを利活用する上で知っておくべきこと ・AI社会原則(人間中心判断)、データバイアス、データ倫理「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第8回) ・AIサービスの責任論(LLMの影響)、AIの負の事例(AIブラックボックス性)、データバイアス、AIの限界「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第8回) ・個人情報保護「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第13回) ・プライバシーとコンテンツの保護「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第13回) ・情報倫理「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第13回)</p> <p>3-2 データを守る上で知っておくべきこと ・セキュリティ関連法規、情報セキュリティ「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第9、10回) ・セキュリティ事故(脅威と脆弱性)「情報科学と情報倫理」(第12回)「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第9、10回) ・暗号化技術「情報科学と情報倫理」(第12回)、「AI時代のデータサイエンスと倫理」(第11、12回)</p>

(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社 会での実例を題材とし て、「データを読む、説 明する、扱う」といった 数理・データサイエン ス・AIの基本的な活用 法に関するもの	2-1	データを適切に読み解く力を養う ・クロス集計「情報リテラシー」(第1回～第6回)「 データサイエンスの理解と応用 」(第3回)、「情報科学演習」(第1～5回)「 ビジネスソフトウェアの基礎と応用 」(第3回) ・基本統計量(最大値、最小値)、相関分析「情報リテラシー」(第1回～第6回)「 データサイエンスの理解と応用 」(第2回) ・基本統計量(平均、分散)、データ分布「情報リテラシー」(第1回～第6回)「 データサイエンスの理解と応用 」(第2回) ・統計情報の正しい理解(データ分析のビジネス上での重要性)、「 データサイエンスの理解と応用 」(第1回～第14回)
	2-2	データを適切に説明する力を養う ・データの比較(研究デザイン)「情報リテラシー」(第1回～第6回)「 データサイエンスの理解と応用 」(第1回～第14回)、「情報科学演習」(第1～5回)「 ビジネスソフトウェアの基礎と応用 」(第3回) ・Rによるデータ分析概説(データの表現、可視化)「情報科学と情報倫理」(第12回)「 AI時代のデータサイエンスと倫理 」(第6回) ・Rによる回帰分析、検定「情報科学と情報倫理」(第12回)「 データサイエンスの理解と応用 」(第5回)
	2-3	データを扱うための力を養う ・データの集計、並び替え、データ解析ツール「情報リテラシー」(第1回～第6回)「 ビジネスソフトウェアの基礎と応用 」(第3回)、「 データサイエンスの理解と応用 」(第1回～第6回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

現代社会における数理・データサイエンス・AIの必要性を理解し、その基盤となる基礎知識、技術から実際の活用事例までを理解する。その過程においては、データを扱うための汎用的な技能、データの扱いに関する法律やモラルといった倫理観についても身に付ける。

自 使い方

🔍 科目検索

検索結果

科目名	担当者名	カリキュラムナンバー	学年	開講期	選択・必修	実務家教員
ビジネスソフトウェアの基礎と応用	児玉 耕太・香川 博隆	IS-1-i-01	第1学年	前期	必修	
AI時代のデータサイエンスと倫理	児玉 耕太・香川 博隆	IS-1-i-02	第1学年	後期	必修	
データサイエンスの理解と応用	児玉 耕太	IS-2-ii-01	第2学年	後期	必修	
実践統計学	児玉 耕太	CP-5-iii-16	第5学年	前・後期	選択	
ビジネスソフトウェアの基礎と応用	児玉 耕太・香川 博隆	IS-1-i-01	第1学年	前期	必修	
AI時代のデータサイエンスと倫理	児玉 耕太・香川 博隆	IS-1-i-02	第1学年	後期	必修	
情報解析のためのプログラミング演習	児玉 耕太・香川 博隆・蔭山 逸行・小林 由幸	IS-2-ii-02	第2学年	前期	必修	
データサイエンスの理解と応用	児玉 耕太	IS-2-ii-01	第2学年	後期	必修	
実践統計学	児玉 耕太	GE-4-iii-52	第4学年	前期	必修	

これは令和7年度(2025年度)のシラバス情報を示すWebサイトの画面キャプチャです

担当者：児玉 耕太・香川 博隆

一般目標 (GIO) /ねらい

学生が、コンピュータや文書作成・プレゼンテーションソフトを活用する能力、インターネットを用いた情報収集・整理・発信のスキル、および情報倫理やセキュリティに関する知識を総合的に身につけることを目標とする。また、これらのスキルと知識をビジネスや学術の場で実践し、情報発信を行う際にも適切なリテラシーと批判的思考を発揮できるようにする。

到達目標 (SBOs) /学修目標

コンピュータやインターネット、ソフトウェアを使用し、メール・文書・プレゼンテーションなどのビジネスソフトウェアの基礎を習得する。
 コンピュータやインターネットを通じた情報発信・共有について正しく理解し、有効に活用できる。

身につけるべき知識・能力

薬学を学ぶ上での基盤となるビジネスソフトウェアの基礎知識を身に付ける。

【薬学科】 DP1・DP2

【創薬科学科】 DP1・DP2

受講心得・準備学習等

授業に出席し、課題を提出する。

事後学習・復習等

授業の中で学んだ各種ソフトウェア方法の使用方法を復習し、課題を作成する。

予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく（30分以上）。

復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30分以上)。

オフィスアワー

講義日の13:00-18:00。電子メールによる質問・相談は随時受け付ける。

授業の形式

対面による演習

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	情報の基礎	情報セキュリティ、メールの送り方など、Social Networking Service (SNS) を題材とする、ネットワークを介した情報収集および情報発信とその問題点	児玉 耕太・香川 博隆	
2	文書作成	文書作成ソフトによる文書作成の基本、図表の作成方法、基本的なレポートの構成とその作成	児玉 耕太・香川 博隆	
3	データの収集と解析	表計算ソフト（エクセル）の基本操作と解析の実例	児玉 耕太・香川 博隆	
4	プレゼンテーション（演習）	聴講者を意識した効果的なプレゼンテーションの作成方法と発表における注意点	児玉 耕太・香川 博隆	

5	プレゼンテーション（発表）	プレゼンテーション作成ソフトウェアを用いたプレゼンテーションの作成と発表 授業アンケート	児玉 耕太・香川博隆	
---	---------------	---	------------	--

成績評価の方法

レポート（100%）で評価する。

成績評価の基準

レポートの評価が60%以上を合格とする。

フィードバック

レポートで理解の到達が不十分な項目があった場合は、講義を行い解説する。
講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布プリント

参考書など

「速く」「短く」「感じよく」メールを書く方法
Excel 最強の教科書 [完全版] 【2nd Edition】
外資系コンサルのスライド作成術—図解表現23のテクニック
秒で伝わるパワポ術 仕事でもSNSでも〈いいね〉がもらえるスライド作成のコツ

閉じる

印刷

担当者：児玉 耕太・香川 博隆

一般目標 (GIO) /ねらい

学生が、コンピュータや文書作成・プレゼンテーションソフトを活用する能力、インターネットを用いた情報収集・整理・発信のスキル、および情報倫理やセキュリティに関する知識を総合的に身につけることを目標とする。また、これらのスキルと知識をビジネスや学術の場で実践し、情報発信を行う際にも適切なリテラシーと批判的思考を発揮できるようにする。

到達目標 (SBOs) /学修目標

コンピュータやインターネット、ソフトウェアを使用し、メール・文書・プレゼンテーションなどのビジネスソフトウェアの基礎を習得する。
 コンピュータやインターネットを通じた情報発信・共有について正しく理解し、有効に活用できる。

身につけるべき知識・能力

薬学を学ぶ上での基盤となるビジネスソフトウェアの基礎知識を身に付ける。

【薬学科】 DP1・DP2

【創薬科学科】 DP1・DP2

受講心得・準備学習等

授業に出席し、課題を提出する。

事後学習・復習等

授業の中で学んだ各種ソフトウェア方法の使用方法を復習し、課題を作成する。

予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく（30分以上）。

復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30分以上)。

オフィスアワー

講義日の13:00-18:00。電子メールによる質問・相談は随時受け付ける。

授業の形式

対面による演習

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	情報の基礎	情報セキュリティ、メールの送り方など、Social Networking Service (SNS) を題材とする、ネットワークを介した情報収集および情報発信とその問題点	児玉 耕太・香川 博隆	
2	文書作成	文書作成ソフトによる文書作成の基本、図表の作成方法、基本的なレポートの構成とその作成	児玉 耕太・香川 博隆	
3	データの収集と解析	表計算ソフト（エクセル）の基本操作と解析の実例	児玉 耕太・香川 博隆	
4	プレゼンテーション（演習）	聴講者を意識した効果的なプレゼンテーションの作成方法と発表における注意点	児玉 耕太・香川 博隆	

5	プレゼンテーション（発表）	プレゼンテーション作成ソフトウェアを用いたプレゼンテーションの作成と発表 授業アンケート	児玉 耕太・香川博隆	
---	---------------	---	------------	--

成績評価の方法

レポート（100%）で評価する。

成績評価の基準

レポートの評価が60%以上を合格とする。

フィードバック

レポートで理解の到達が不十分な項目があった場合は、講義を行い解説する。
講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布プリント

参考書など

「速く」「短く」「感じよく」メールを書く方法
Excel 最強の教科書 [完全版] 【2nd Edition】
外資系コンサルのスライド作成術—図解表現23のテクニック
秒で伝わるパワポ術 仕事でもSNSでも〈いいね〉がもらえるスライド作成のコツ

閉じる

印刷

担当者：児玉 耕太・香川 博隆

一般目標 (GIO) /ねらい

情報技術の発展に合わせた効果的なコンピュータの利用法と情報倫理・セキュリティの知識を修得する。特に学術論文の種類や検索方法、活用方法について学ぶ。

また、AIなど最新の関連分野の潮流と薬学との関連性について修得する。

到達目標 (SBOs) /学修目標

1. データ、情報、知識の特徴について説明できる。
2. ネットワーク等の利用者として配慮すべき情報倫理について概説できる。
3. 情報セキュリティ関連法規、知的財産権等について概説できる。
4. 生成AIを始めとする基本的なAI技術について使い方と注意点を概説できる。
5. オープンソースな言語であるPythonやRの歴史や活用方法について学び、データサイエンスの現状について概説できる。
6. 薬学分野におけるAIやデータサイエンスの活用事例、医療DXについて概説できる。

身につけるべき知識・能力

幅広い知識、倫理観を身に付ける。

【薬学科】 DP1に該当する。

受講心得・準備学習等

前回までの範囲を理解の上、出席のこと。

事後学習・復習等

講義ノートを作成し、復習のこと。

予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく（30分以上）。

復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30分以上)。

オフィスアワー

児玉：毎週水曜日13:00-16:00（ただし、訪問する際には事前に連絡してアポイントメントを取得すること）

香川：13:00～18:00（講義・会議・出張等による不在および土曜・休日は除く）

授業の形式

講義

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	ガイダンス・AI入門	講義の進め方を簡単に説明したのち、人工知能(AI)やデータサイエンスを取り巻く社会の動向や歴史的背景、AIの定義や分類などAIに関する基礎知識について概説する。	児玉	
2	ビッグデータとデータサイエンス	経済やビジネス分野など実社会におけるビッグデータや多様なデータ利用について学ぶ。データサイエンスやAI分野で使用されるプログラミング言語、特にオープンソースな言語であるPythonやRの歴史や活用方法について学び、データサイエンスの現状について概説する。	児玉	
3	著作権とクリエイイ	知的財産の基礎知識を学び、AIの分野における特許の事例等を理解する。これら著作権の概要と著作権の法	児玉	

	タイプ・コモンズ	的な問題を回避しようとするクリエイティブ・コモンズについて学ぶ。		
4	情報とコンピュータの基礎	データ・情報・知識の違い、コンピュータの歴史、情報理論の概要	児玉	
5	新しいIT技術の活用	AIを含む最新IT技術（例：IoTやブロックチェーン）がどのように活用されているのか、活用事例を交えながら私達の生活にどう影響を与えていくのかを学ぶ。	児玉	
6	データサイエンスの基礎知識	統計・機械学習の基本概念、データの収集・前処理、可視化の重要性	児玉	
7	生成AIの基礎	近年各分野で注目されている生成AI（生成系AI）の基礎について学ぶ。テキスト生成AIや画像生成AIなどメジャーなAIやサービスの使い方を通して生成AIの仕組み、使いこなすための心得について学ぶ。	児玉	
8	データのバイアスと公平性	AIやデータサイエンスにおけるバイアス（偏り）の問題を取り上げ、それがどのように発生し、どのような影響を社会にもたらすかを学ぶ。ます。	児玉	
9	情報倫理1	ネットワークと情報セキュリティ1	香川	
10	情報倫理2	ネットワークと情報セキュリティ2	香川	
11	情報倫理3	暗号技術1	香川	
12	情報倫理4	暗号技術2	香川	
13	情報倫理5	関連法規	香川	
14	薬学とAI・データサイエンス	薬学分野におけるAIやデータサイエンスの活用事例、医療DXについて学ぶ。+授業評価アンケート実施	児玉	

成績評価の方法

定期試験による。

成績評価の基準

試験結果が60%以上を合格とする。

フィードバック

学生が興味をもったトピックは学びを深化させるため、メール等の問い合わせがあればサポートする。定期試験不合格者に対し、本人が作成した講義ノートから学習状況および理解の程度を把握の上、追再試験に向け、指導する。講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布資料

参考書など

講義時に紹介する

担当者：児玉 耕太・香川 博隆

一般目標 (GIO) /ねらい

情報技術の発展に合わせた効果的なコンピュータの利用法と情報倫理・セキュリティの知識を修得する。特に学術論文の種類や検索方法、活用方法について学ぶ。

また、AIなど最新の関連分野の潮流と薬学との関連性について修得する。

到達目標 (SBOs) /学修目標

1. データ、情報、知識の特徴について説明できる。
2. ネットワーク等の利用者として配慮すべき情報倫理について概説できる。
3. 情報セキュリティ関連法規、知的財産権等について概説できる。
4. 生成AIを始めとする基本的なAI技術について使い方と注意点を概説できる。
5. オープンソースな言語であるPythonやRの歴史や活用方法について学び、データサイエンスの現状について概説できる。
6. 薬学分野におけるAIやデータサイエンスの活用事例、医療DXについて概説できる。

身につけるべき知識・能力

幅広い知識、倫理観を身に付ける。

【創薬科学科】DP1に該当する。

受講心得・準備学習等

前回までの範囲を理解の上、出席のこと。

事後学習・復習等

講義ノートを作成し、復習のこと。

予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく（30分以上）。

復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30分以上)。

オフィスアワー

児玉：毎週水曜日13:00-16:00（ただし、訪問する際には事前に連絡してアポイントメントを取得すること）

香川：13:00～18:00（講義・会議・出張等による不在および土曜・休日は除く）

授業の形式

講義

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	ガイダンス・AI入門	講義の進め方を簡単に説明したのち、人工知能(AI)やデータサイエンスを取り巻く社会の動向や歴史的背景、AIの定義や分類などAIに関する基礎知識について概説する。	児玉	
2	ビッグデータとデータサイエンス	経済やビジネス分野など実社会におけるビッグデータや多様なデータ利用について学ぶ。データサイエンスやAI分野で使用されるプログラミング言語、特にオープンソースな言語であるPythonやRの歴史や活用方法について学び、データサイエンスの現状について概説する。	児玉	
3	著作権とクリエイイ	知的財産の基礎知識を学び、AIの分野における特許の事例等を理解する。これら著作権の概要と著作権の法	児玉	

	ティプ・コモンズ	的な問題を回避しようとするクリエイティブ・コモンズについて学ぶ。		
4	情報とコンピュータの基礎	データ・情報・知識の違い、コンピュータの歴史、情報理論の概要	児玉	
5	新しいIT技術の活用	AIを含む最新IT技術（例：IoTやブロックチェーン）がどのように活用されているのか、活用事例を交えながら私達の生活にどう影響を与えていくのかを学ぶ。	児玉	
6	データサイエンスの基礎知識	統計・機械学習の基本概念、データの収集・前処理、可視化の重要性	児玉	
7	生成AIの基礎	近年各分野で注目されている生成AI（生成系AI）の基礎について学ぶ。テキスト生成AIや画像生成AIなどメジャーなAIやサービスの使い方を通して生成AIの仕組み、使いこなすための心得について学ぶ。	児玉	
8	データのバイアスと公平性	AIやデータサイエンスにおけるバイアス（偏り）の問題を取り上げ、それがどのように発生し、どのような影響を社会にもたらすかを学ぶ。ます。	児玉	
9	情報倫理1	ネットワークと情報セキュリティ1	香川	
10	情報倫理2	ネットワークと情報セキュリティ2	香川	
11	情報倫理3	暗号技術1	香川	
12	情報倫理4	暗号技術2	香川	
13	情報倫理5	関連法規	香川	
14	薬学とAI・データサイエンス	薬学分野におけるAIやデータサイエンスの活用事例、医療DXについて学ぶ。+授業評価アンケート実施	児玉	

成績評価の方法

定期試験による。

成績評価の基準

試験結果が60%以上を合格とする。

フィードバック

学生が興味をもったトピックは学びを深化させるため、メール等の問い合わせがあればサポートする。定期試験不合格者に対し、本人が作成した講義ノートから学習状況および理解の程度を把握の上、追再試験に向け、指導する。講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布資料

参考書など

講義時に紹介する

担当者：児玉 耕太

一般目標 (GIO) /ねらい

データサイエンスの基本概念とその応用について学ぶ。医薬品開発や医療分野におけるデータサイエンスの役割を理解し、実際のデータを用いた分析手法を習得する。データサイエンスの基礎を学んだ上で、後半にデータサイエンスを活用して研究やビジネスを行っている外部講師の講演を聞き、社会での応用事例について学ぶ。

到達目標 (SBOs) /学修目標

データサイエンスの基本概念を理解し、説明できる。
 データの収集、整理、分析の方法を学び、応用できる。
 医薬品開発や医療分野におけるデータサイエンスの応用事例を学び、自分の研究活動にも活かすことができる。
 実際のデータを用いて分析を行い、結果を解釈することができる。

身につけるべき知識・能力

統計解析の基礎知識：各種統計量や分布、仮説検定の基本概念の習得。
 検定の実践力：カイ二乗検定やt検定など、2変量までの検定の選択方法、解析法の習得。
 研究遂行能力：研究デザインに基づくデータ解析の計画、実施、結果の報告を通じた総合的な統計活用能力。
 医療・創薬現場への適用力：臨床や創薬に必要な統計解析手法を適材適所に選択・応用する実践的スキル。
 【薬学科】 DP1・DP2に該当する。
 【創薬科学科】 DP1・DP2に該当する。

受講心得・準備学習等

授業に出席し、課題を提出する。
 講義には各自インターネットにアクセスが可能で、Microsoft Excelの入ったノートパソコンを持参すること。

事後学習・復習等

授業の中で学んだ各種ソフトウェア方法の使用方法を復習し、クリエイティブ・コモンズや引用ルールなど、ルールを守りながら、課題を作成する。
 予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく (30 分以上)。
 復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30 分以上)。

オフィスアワー

児玉・蔭山・小林：毎週水曜日13:00-16:00 (ただし、訪問する際には事前に連絡してアポイントメントを取得すること)

授業の形式

講義

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	統計・データサイエンス概要	データ分析に用いるための統計解析・データサイエンス概説	児玉	
2	基礎演習	並べ替え、最大値、最小値、平均、標準偏差の算出	児玉	
3	統計学基礎	クロス集計表の作成	児玉	
4	カイ二乗検定、相関係数の算出	適合度検定、独立性検定、正の相関、負の相関、無相関	児玉	

5	T検定・回帰分析	p値、有意差、統計的検定、推測統計、モデル構築	児玉	
6	まとめとレポート課題の説明	統計学・データサイエンスの学習方法、インターネット上での調べ方など学習する。	児玉	
7	社会での応用事例1	保険業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
8	社会での応用事例2	IT業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
9	社会での応用事例3	教育業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
10	社会での応用事例4	化学業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
11	社会での応用事例5	健康・介護業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
12	社会での応用事例6	製薬業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
13	社会での応用事例7	病院・薬局での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
14	社会での応用事例8	金融業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	

成績評価の方法

講義への参加態度（50%）、レポート（50%）で評価する。

成績評価の基準

上記評価60%以上を合格とする。

フィードバック

不合格者に対しては、追加レポートの提出を求め、その内容について指導する。

講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布プリント

参考書など

備考

前半の6回は、水曜日1限、2限に分かれて開催。後半8回は、午後3限4限でまとめて開催。詳細日程・開講教室は前半の6回で告知するので注意すること。

閉じる

印刷

担当者：児玉 耕太

一般目標 (GIO) /ねらい

データサイエンスの基本概念とその応用について学ぶ。医薬品開発や医療分野におけるデータサイエンスの役割を理解し、実際のデータを用いた分析手法を習得する。データサイエンスの基礎を学んだ上で、後半にデータサイエンスを活用して研究やビジネスを行っている外部講師の講演を聞き、社会での応用事例について学ぶ。

到達目標 (SBOs) /学修目標

データサイエンスの基本概念を理解し、説明できる。
 データの収集、整理、分析の方法を学び、応用できる。
 医薬品開発や医療分野におけるデータサイエンスの応用事例を学び、自分の研究活動にも活かすことができる。
 実際のデータを用いて分析を行い、結果を解釈することができる。

身につけるべき知識・能力

統計解析の基礎知識：各種統計量や分布、仮説検定の基本概念の習得。
 検定の実践力：カイ二乗検定やt検定など、2変量までの検定の選択方法、解析法の習得。
 研究遂行能力：研究デザインに基づくデータ解析の計画、実施、結果の報告を通じた総合的な統計活用能力。
 医療・創薬現場への適用力：臨床や創薬に必要な統計解析手法を適材適所に選択・応用する実践的スキル。
 【薬学科】 DP1・DP2に該当する。
 【創薬科学科】 DP1・DP2に該当する。

受講心得・準備学習等

授業に出席し、課題を提出する。
 講義には各自インターネットにアクセスが可能で、Microsoft Excelの入ったノートパソコンを持参すること。

事後学習・復習等

授業の中で学んだ各種ソフトウェア方法の使用方法を復習し、クリエイティブ・コモンズや引用ルールなど、ルールを守りながら、課題を作成する。
 予習：教科書、参考書、講義資料などに目を通しておく (30 分以上) 。
 復習：教科書、参考書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30 分以上) 。

オフィスアワー

児玉・蔭山・小林：毎週水曜日13:00-16:00 (ただし、訪問する際には事前に連絡してアポイントメントを取得すること)

授業の形式

講義

各回の内容

※備考は2024年以降入学生適用。SBOコードは2023年以前入学生適用。

回数	項目	内容	担当者	※備考/SBOコード
1	統計・データサイエンス概要	データ分析に用いるための統計解析・データサイエンス概説	児玉	
2	基礎演習	並べ替え、最大値、最小値、平均、標準偏差の算出	児玉	
3	統計学基礎	クロス集計表の作成	児玉	
4	カイ二乗検定、相関係数の算出	適合度検定、独立性検定、正の相関、負の相関、無相関	児玉	
5	T検定	p値、有意差、統計的検定	児玉	

6	回帰分析	推測統計、モデル構築	児玉	
7	社会での応用事例 1	保険業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
8	社会での応用事例 2	IT業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
9	社会での応用事例 3	教育業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
10	社会での応用事例 4	化学業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
11	社会での応用事例 5	健康・介護業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
12	社会での応用事例 6	製薬業界での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
13	社会での応用事例 7	病院・薬局での応用事例講演 ※講演先は変更する可能性があります。	児玉	
14	まとめとレポート課題発表	授業のまとめとレポート課題の発表 授業評価アンケート実施	児玉	

成績評価の方法

講義への参加態度（50%）、レポート（50%）で評価する。

成績評価の基準

上記評価60%以上を合格とする。

フィードバック

不合格者に対しては、追加レポートの提出を求め、その内容について指導する。

講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

教科書

配布プリント

参考書など

閉じる

印刷

2025年度 薬学科(6年制)カリキュラム・マップ(1年生用)

卒業に必要な単位数 188単位

※ 選択必修科目(選必)
* 選択科目(選択)

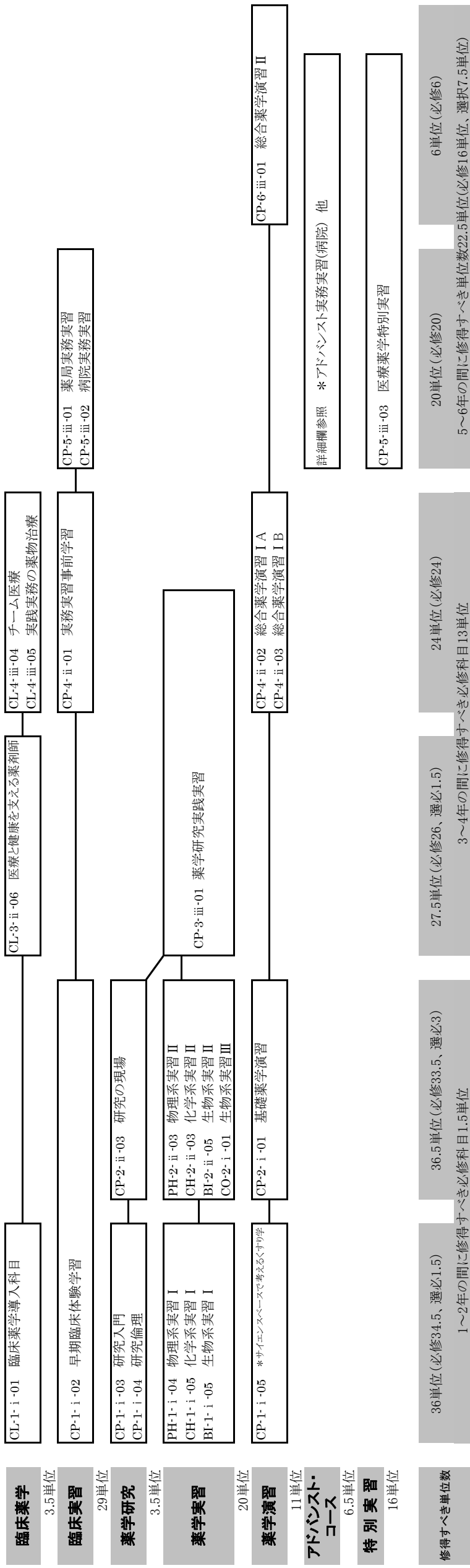
カリキュラムナンバー

各科目のナンバリングは、『分類記号一階層記号一階層記号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考にして下さい。

分類記号	GE (General Education)	段階記号	段階記号
LA	(Language)	i	導入(基礎的な科目)
IS	(Information Science)	ii	展開(基礎科目を受けて開講する科目)
PH	(Physics)	iii	先進(その分類における発展的な科目)
CH	(Chemistry)		
BI	(Biology)		
CO	(Pharmacology)		
PC	(Pharmaceutics)		
CL	(Clinical Pharmacy)		
CP	(Comprehensive Pharmacy)		

： 教養系教育科目
： 語学教育科目
： 情報系教育科目
： 物理系薬学科目
： 化学系薬学科目
： 生物系薬学科目
： 薬理系薬学科目
： 薬剤系薬学科目
： 臨床系薬学科目
： 薬学全般科目(複数分類にまたがる科目を含む)

学 科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
人と文化 7.5単位	GE-1-i-01 薬学人としての教養入門 GE-1-i-02 * 基礎教育演習 詳細欄参照 ※A欧州の言語と風土 他	詳細欄参照 ※B日本の伝統文化と医療 他 ※C医療社会学論 他	詳細欄参照 ※D有用植物の歴史と応用 他			
薬学英語 11単位	LA-1-i-01 英語リーディング・ライティングA LA-1-i-02 英語リーディング・ライティングB LA-1-i-03 英語リスニング・スピーキング LA-1-i-04 英語プレゼンテーション	LA-2-ii-01 医療・薬学英語 I A LA-2-ii-02 医療・薬学英語 I B	LA-3-iii-01 医療・薬学英語 II A LA-3-iii-02 医療・薬学英語 II B	LA-4-iiii-01 医療・薬学英語 III		
社会と薬学 15.5単位	CP-1-i-01 薬学の心構え I IS-1-i-01 ビジネスソフトウエアの基礎と応用 IS-1-i-02 AI時代のデータサイエンスと倫理	CP-2-ii-01 薬学の心構え II CP-2-ii-02 薬剤師のキャリアデザイン IS-2-ii-01 データサイエンスの理解と応用	CP-3-iii-01 フォーマル・インフォーマルコミュニケーション CP-3-iii-02 社会と薬学 I IS-3-iii-01 データサイエンスと医療(仮)	CP-4-iiii-01 医療人としての薬剤師 CP-4-iiii-02 社会と薬学 II IS-4-iiii-01 パイオスタティスティクス		
物理系薬学 13.5単位	PH-1-i-01 薬学基礎の数学・物理学 PH-1-i-02 物理化学 I PH-1-i-03 分析化学 I	PH-2-ii-01 物理化学 II PH-2-ii-02 分析化学 II PH-2-iii-01 臨床分析の基礎と応用	PC-3-i-01 製剤化のサイエンス I PC-3-ii-01 製剤化のサイエンス II	PC-4-iiii-01 医薬品開発と生産のながれ		
化学系薬学 13.5単位	CH-1-i-01 薬学基礎の化学・生物学 CH-1-i-02 有機化学 I CH-1-i-03 有機化学 II CH-1-i-04 天然資源 I	CH-2-ii-01 有機化学 III CH-2-ii-02 有機化学 IV	CH-3-iii-01 天然資源 II CH-3-iii-01 生物有機化学	CH-4-iiii-01 創薬化学		
生物系薬学 17単位	BI-1-i-01 生化学 I BI-1-i-02 生化学 II BI-1-i-03 機能形態学 I BI-1-i-04 機能形態学 II	BI-2-ii-01 微生物学 BI-2-ii-02 細胞生物学 BI-2-ii-03 免疫学 BI-2-i-01 衛生薬学導入科目 BI-2-ii-04 衛生学 I	BI-3-iii-01 分子生物学 BI-3-iii-01 衛生学 II BI-3-iii-02 衛生学 III	CL-4-iiii-01 薬物治療の個別化・最適化 CL-4-iiii-02 疾患・有害事象の症候 CL-4-iiii-03 薬物治療演習 II		
医療薬学 19.5単位	CO-1-i-01 医療薬学導入科目 CO-1-i-02 薬理学 I	CO-2-ii-01 薬理学 II CL-2-i-01 患者・医薬品情報 PC-2-i-01 薬物動態 I CL-2-i-02 薬物治療 I	PC-3-iii-02 薬物動態 II CL-3-iii-01 薬物治療 II CL-3-iii-02 薬物治療 III CL-3-iii-03 薬物治療 IV CL-3-iii-04 薬物治療 V CL-3-iii-05 薬物治療演習 I			



『人と文化』科目の詳細

GE-1-i-03 ※A欧州の言語と風土	GE-2-i-17 ※B教式・化学式組版プログラミング	食品学特論	臨床漢方治療学
GE-1-i-04 ※Aコミュニケーション概論	GE-2-i-09 ※C医療社会論	司法と薬学	構造解析学A・B
GE-1-i-05 ※A倫理学概論	GE-2-i-10 ※C生命倫理	国際基準の英語(TOEFL対策)	一般統計
GE-1-i-06 ※A西洋文明の形成と展開	GE-2-i-11 ※C教育学ゼミナール	ファーマシストのための実践英会話	一般薬理学
GE-1-i-07 ※A政治と医療	GE-2-i-12 ※C法学ゼミナール	薬事と行政	実践薬理学
GE-1-i-08 ※A医療心理学	GE-2-i-13 ※C心の科学	衛生学特論	栄養と保健衛生
GE-1-i-09 ※A医療に隣接する社会分析	GE-2-i-14 ※Cスポーツ科学	応用免疫学	創薬を支える物理化学
GE-1-i-10 ※Aスポーツ実技	GE-2-i-15 ※C生活環境と科学	リナーダーシップ学	薬剤師への有機化学
GE-1-i-11 ※A医療コミュニケーション学	GE-2-i-18 ※Cヘルソスコミュニケーション学ゼミナール	ステップアップ・プレゼンテーション	生物学特講Ⅰ・Ⅱ
GE-2-i-01 ※B日本の伝統文化と医療	GE-2-i-19 ※C薬品物性基礎論	医薬品等に関する規制調和と国際標準	食生活と保健衛生
GE-2-i-02 ※B西洋医学の源流と文化	GE-3-i-01 ※Dエコロジー論	医薬品開発戦略論	薬理学の基礎と呼吸器疾患
GE-2-i-03 ※B現代社会と薬学	GE-3-i-02 ※D法学概論	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	消化器・代謝系疾患集中講義
GE-2-i-04 ※Bジェンダー論	GE-3-i-03 ※D素粒子と放射線医療	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	知覚・脳神経特論
GE-2-i-05 ※B心理学ゼミナール	GE-3-i-04 ※D人間の発達	放射線応用学	循環器系・内分泌系集中講義
GE-2-i-06 ※B東洋の文化と芸術	GE-3-i-05 ※Dスポーツセラピー	ゲノム薬理への道	臨床を支える薬理学
GE-2-i-07 ※B体育実技	GE-3-i-06 ※D薬形理論の医療への応用	実用数学A・B	日本社会の医療と法
GE-2-i-08 ※B世界の統合医療とメディカルアロマセラピー	GE-3-i-07 ※D有用植物の歴史と応用	環境衛生学	薬学特別演習
GE-2-i-16 ※B有用植物の歴史と応用		アカデミック・ライティング	

『アドバンスト・コース』の詳細(予定)

アドバンスト実務実習(病院)	アドバンスト実務実習(薬局)	食品学特論	臨床漢方治療学
海外実務研修	海外実務研修	司法と薬学	構造解析学A・B
海外応用研修	海外応用研修	国際基準の英語(TOEFL対策)	一般統計
応用研究	応用研究	ファーマシストのための実践英会話	一般薬理学
研究指導力育成実習	研究指導力育成実習	薬事と行政	実践薬理学
専門薬剤師特論Ⅰ～Ⅳ	専門薬剤師特論Ⅰ～Ⅳ	衛生学特論	栄養と保健衛生
在宅医療	在宅医療	応用免疫学	創薬を支える物理化学
臨床薬学	臨床薬学	リナーダーシップ学	薬剤師への有機化学
救命救急・災害医療	救命救急・災害医療	ステップアップ・プレゼンテーション	生物学特講Ⅰ・Ⅱ
医療現場におけるヒューマンエラー	医療現場におけるヒューマンエラー	医薬品等に関する規制調和と国際標準	食生活と保健衛生
医療倫理学	医療倫理学	医薬品開発戦略論	薬理学の基礎と呼吸器疾患
緩和医療薬学	緩和医療薬学	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	消化器・代謝系疾患集中講義
臨床研究・統計	臨床研究・統計	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	知覚・脳神経特論
治験	治験	放射線応用学	循環器系・内分泌系集中講義
医薬品製造学	医薬品製造学	ゲノム薬理への道	臨床を支える薬理学
医療保険概論	医療保険概論	実用数学A・B	日本社会の医療と法
		環境衛生学	薬学特別演習
		アカデミック・ライティング	

2025年度 薬学科(6年制)カリキュラム・マップ(2年生用)

卒業に必要な単位数 188単位

※ 選択必修科目(選必)
* 選択科目(選択)

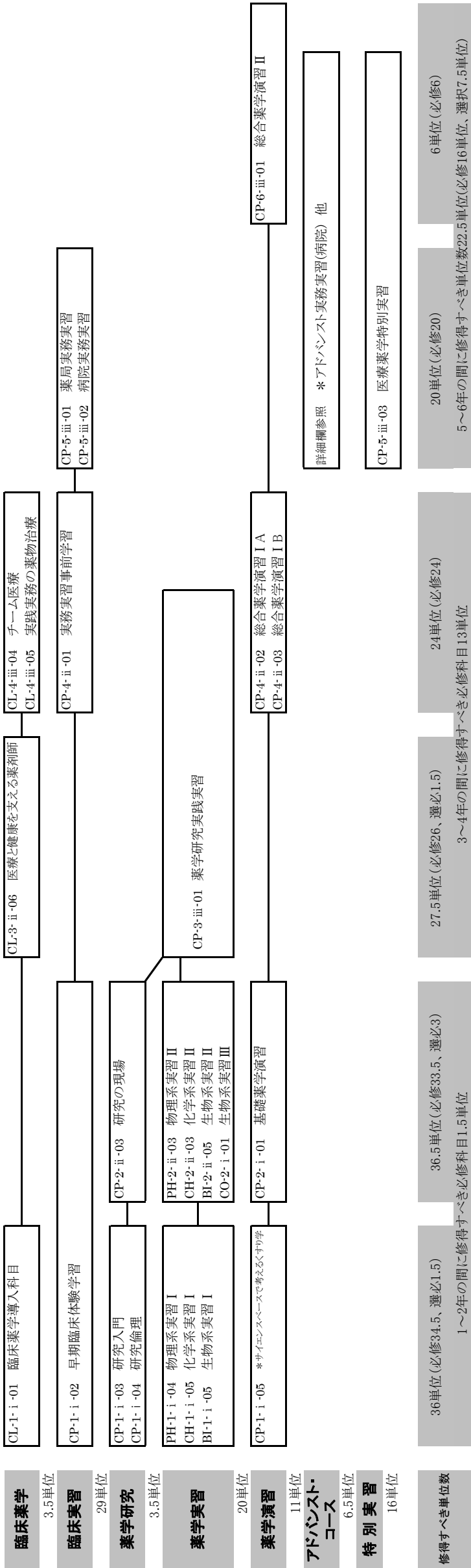
カリキュラムナンバー

各科目のナンバリングは、『分類記号－段階記号－通し番号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考してください。

分類記号	GE (General Education)	段階記号	i : 導入(基礎的な科目)
LA (Language)			ii : 展開(基礎科目を受けて開講する科目)
IS (Information Science)			iii : 先進(その分類における発展的な科目)
PH (Physics)			
CH (Chemistry)			
BI (Biology)			
CO (Pharmacology)			
PC (Pharmaceutics)			
CL (Clinical Pharmacy)			
CP (Comprehensive Pharmacy)			

：教養系教育科目
：語学教育科目
：情報系教育科目
：物理系薬学科目
：化学系薬学科目
：生物系薬学科目
：薬理系薬学科目
：薬劑系薬学科目
：臨床系薬学科目
：薬学全般科目(複数分類にまたがる科目を含む)

学 科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
人と文化 7.5単位	GE-1-i-01 薬学人としての教養入門 GE-1-i-02 * 基礎教育演習 詳細欄参照 ※A欧州の言語と風土 他	詳細欄参照 ※B日本の伝統文化と医療 他 ※C医療社会論 他	詳細欄参照 ※D有用植物の歴史と応用 他			
薬学英語 11単位	LA-1-i-01 英語リーディング・ライティングA LA-1-i-02 英語リーディング・ライティングB LA-1-i-03 英語リスニング・スピーキング LA-1-i-04 英語プレゼンテーション	LA-2-i-01 医療・薬学英語 I A LA-2-i-02 医療・薬学英語 I B	LA-3-iii-01 医療・薬学英語 II A LA-3-iii-02 医療・薬学英語 II B	LA-4-iii-01 医療・薬学英語 III		
社会と薬学 15.5単位	CP-1-i-01 薬学の心構え I IS-1-i-01 情報科学演習 IS-1-i-02 情報科学と情報倫理	CP-2-i-01 薬学の心構え II CP-2-i-02 薬剤師のキャリアデザイン IS-2-i-01 データサイエンスの理解と応用		CP-4-iii-01 医療人としての薬剤師 CP-4-iii-02 社会と薬学 II IS-4-iii-01 バイオスタティスティクス		
物理系薬学 13.5単位	PH-1-i-01 薬学基礎の数学・物理学 PH-1-i-02 物理化学 I PH-1-i-03 分析化学 I	PH-2-i-01 物理化学 II PH-2-i-02 分析化学 II PH-2-iii-01 臨床分析の基礎と応用		PC-4-iii-01 医薬品開発と生産のながれ		
化学系薬学 13.5単位	CH-1-i-01 薬学基礎の化学・生物学 CH-1-i-02 有機化学 I CH-1-i-03 有機化学 II CH-1-i-04 天然資源 I	CH-2-i-01 有機化学 III CH-2-i-02 有機化学 IV		CH-4-iii-01 創薬化学		
生物系薬学 13.5単位	BI-1-i-01 生化学 I BI-1-i-02 生化学 II BI-1-i-03 機能形態学 I BI-1-i-04 機能形態学 II	BI-2-i-01 微生物学 BI-2-i-02 細胞生物学 BI-2-i-03 免疫学 BI-2-i-04 衛生薬学導入科目 衛生学 I	BI-3-i-01 分子生物学 BI-3-iii-01 衛生学 II BI-3-iii-02 衛生学 III			
医療薬学 17単位	CO-1-i-01 医療薬学導入科目 CO-1-i-02 薬理学 I	CO-2-i-01 薬理学 II CL-2-i-01 患者・医薬品情報 PC-2-i-01 薬物動態 I CL-2-i-02 薬物治療 I	PC-3-ii-02 薬物動態 II CL-3-i-01 薬物治療 II CL-3-ii-02 薬物治療 III CL-3-ii-03 薬物治療 IV CL-3-ii-04 薬物治療 V CL-3-ii-05 薬物治療演習 I	CL-4-iii-01 薬物治療の個別化・最適化 CL-4-iii-02 疾患・有害事象の症候 CL-4-iii-03 薬物治療演習 II		



『人と文化』科目の詳細

GE-1-i-03 ※A欧州の言語と風土	GE-2-i-17 ※B数式・化学式組版プログラム
GE-1-i-04 ※Aコミュニケーション概論	GE-2-i-09 ※C医療社会論
GE-1-i-05 ※A倫理学概論	GE-2-i-10 ※C生命倫理
GE-1-i-06 ※A西洋文明の形成と展開	GE-2-i-11 ※C教育学ゼミナール
GE-1-i-07 ※A政治と医療	GE-2-i-12 ※C法学ゼミナール
GE-1-i-08 ※A医療心理学	GE-2-i-13 ※C心の科学
GE-1-i-09 ※A医療に隣接する社会分析	GE-2-i-14 ※Cスポーツ科学
GE-1-i-10 ※Aスポーツ実技	GE-2-i-15 ※C生活環境と科学
GE-1-i-11 ※A医療コミュニケーション学	GE-2-i-18 ※Cヘルスマネジメント学ゼミナール
GE-2-i-01 ※B日本の伝統文化と医療	GE-2-i-19 ※C薬品物性基礎論
GE-2-i-02 ※B西洋医学の源流と文化	GE-3-i-01 ※Dエロロジー論
GE-2-i-03 ※B現代社会と薬学	GE-3-i-02 ※D素粒子と放射線医療
GE-2-i-04 ※Bジェンダー論	GE-3-i-03 ※D人間の発達
GE-2-i-05 ※B心理学ゼミナール	GE-3-i-04 ※Dスポーツセラピー
GE-2-i-06 ※B東洋の文化と芸術	GE-3-i-05 ※D線形理論の医療への応用
GE-2-i-07 ※B体育実技	GE-3-i-06 ※D有用植物の歴史と応用
GE-2-i-08 ※B世界の統合医療とデジタルヘルスケア	GE-3-i-07 ※D有用植物の歴史と応用
GE-2-i-16 ※B有用植物の歴史と応用	

『アドバンスト・コース』の詳細(予定)

アドバンスト実務実習(病院)	食品学特論	臨床漢方治療学
アドバンスト実務実習(薬局)	司法と薬学	構造解析学A・B
海外実務研修	国際基準の英語(TOEFL対策)	一般統計
海外応用研修	ファーマシストのための実践英会話	一般薬理学
応用研究	薬事と行政	実践薬理学
研究指導力育成実習	衛生学特論	栄養と保健衛生
専門薬剤師特論 I～IV	応用免疫学	創薬を支える物理化学
在宅医療	リーダークリニカル学	薬剤師への有機化学
臨床栄養学	ステップアップ・プレゼンテーション	生物学特論 I・II
救命救急・災害医療	医薬品等に関する規制調和と国際標準	食生活と保健衛生
医療現場におけるヒューマンエラー	医薬品開発戦略論	薬理学の基礎と呼吸器疾患
医療倫理学	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	消化器・代謝系疾患集中講義
緩和医療薬学	放射線応用学	知覚・脳神経特論
臨床研究・統計	ゲノム薬理への道	循環器系・内分泌系集中講義
治験	実用数学A・B	臨床を支える薬理学
医薬品製造学	環境衛生学	日本社会の医療と法
医療保険概論	アカデミック・ライティング	薬学特別演習

2025年度 薬学科(1・2年生) ディプロマ・ポリシー対応表／実務経験のある教員担当科目／独自科目

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学科は、「薬学の基礎として生命・健康を科学し、薬物の適正使用を実践し、医療の進歩に追随する薬とヘルスケアの専門家として活躍する人材を育成する」という教育目的を達成するために、次に掲げる4つの資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与する。

1. 豊かな生活を送るための文化や自然に関する知識と、生命・健康を科学するためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力、情報処理力を獲得する。
2. 薬とヘルスケアの専門家として求められる自己管理能力、チームワーク力、倫理観、社会的責任感を修得する。
3. 薬とヘルスケアの専門家として活躍するために必要な研究遂行能力と課題発見・問題解決能力、さらには生涯にわたって主体的に学習しようという意志をもつ。
4. 薬とヘルスケアの専門家に必要となる高度な知識と技術を身に付ける。

○:該当する

△:一部該当する

薬学準備教育科目（18.5単位）

●:実務経験のある教員担当科目

学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	実務経験	独自
人と文化	薬学人としての教養入門	1.5	1年前期	○		△			○
	基幹教育演習 ※選択科目	1	1年前期	○	○				○
	A欧州の言語と風土	1.5	1年後期	○					○
	Aコミュニケーション概論	1.5	1年後期	○					○
	A倫理学概論	1.5	1年後期	○					○
	A西洋文明の形成と展開	1.5	1年後期	○					○
	A政治と医療	1.5	1年後期	○					○
	A医療心理学	1.5	1年後期	○					○
	A医療に隣接する社会分析	1.5	1年後期	○				●	○
	Aスポーツ実技	1.5	1年後期	○					○
	A医療コミュニケーション学	1.5	1年後期	○	○				○
	B日本の伝統文化と医療	1.5	2年前期	○	△				○
	B西洋医学の源流と文化	1.5	2年前期	○					○
	B世界の統合医療とメディカルアロマセラピー	1.5	2年前期	○					○
	B現代社会と薬学	1.5	2年前期	○					○
	Bジェンダー論	1.5	2年前期	○					○
	B心理学ゼミナール	1.5	2年前期	○					○
	B東洋の文化と芸術	1.5	2年前期	○		△			○
	B体育実技	1.5	2年前期	○					○
	B有用植物の歴史と応用	1.5	2年前期	○					○
	B数式・化学式組版プログラミング	1.5	2年前期	○					○
	C医療社会論	1.5	2年後期	○					○
	C生命倫理	1.5	2年後期	○		△			○
	C教育学ゼミナール	1.5	2年後期	○					○
	C法学ゼミナール	1.5	2年後期	○					○
	C心の科学	1.5	2年後期	○					○
	Cスポーツ科学	1.5	2年後期	○					○
	C生活環境と科学	1.5	2年後期	○	○	○			○
	Cヘルスコミュニケーション学ゼミナール	1.5	2年後期	○			○		○
	C薬品物性基礎論	1.5	2年後期	○					○
Dエコロジー論	1.5	3年後期	○					○	
D法学概論	1.5	3年後期	○					○	
D素粒子と放射線医療	1.5	3年後期	○					○	
D人間の発達	1.5	3年後期	○					○	
Dスポーツセラピー	1.5	3年後期	○					○	
D線形理論の医療への応用	1.5	3年後期	○					○	

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	実務経験	独自
薬学英語	英語リーディング・ライティングA	1.5	1年前期	○					○
	英語リーディング・ライティングB	1.5	1年後期	○					○
	英語リスニング・スピーキング	1.5	1年前期	○					○
	英語プレゼンテーション	1	1年後期	○					○
	医療・薬学英語ⅠA	1.5	2年前期	○					○
	医療・薬学英語ⅠB	1.5	2年後期	○					○
	医療・薬学英語ⅡA	1	3年前期	○					○
	医療・薬学英語ⅡB	1	3年後期	○					○
	医療・薬学英語Ⅲ	0.5	4年前期	○					○

薬学専門教育科目 (169.5単位)

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	実務経験	独自
社会と薬学	薬学の心構えⅠ	1	1年前期	○	○	△	△	●	
	薬学の心構えⅡ	1.5	2年前期		○				
	薬剤師のキャリアデザイン	0.5	2年後期	○	○	△	△		○
	ファーマシューティカルコミュニケーション	1.5	3年前期	○	○			●	
	医療人としての薬剤師	1.5	4年前期		○			●	
	社会と薬学Ⅰ	1.5	3年後期		○				
	社会と薬学Ⅱ	1.5	4年前期		○			●	
	情報科学演習 (2年生)	0.5	1年前期	○	○				
	情報科学と情報倫理 (2年生)	1.5	1年後期	○					
	ビジネスソフトウェアの基礎と応用 (1年生)	0.5	1年前期	○	○				
	AI時代のデータサイエンスと倫理 (1年生)	1.5	1年後期	○					
	データサイエンスの理解と応用	1.5	2年後期	○	○				
	データサイエンスと医療(仮)	1.5	3年前期	○					
バイオスタティスティクス	1.5	4年前期	○				●		
物理系薬学	薬学基礎の数学・物理学	1.5	1年前期	○		○			
	物理化学Ⅰ	1.5	1年後期			○	○		
	物理化学Ⅱ	1.5	2年前期	○		○	○		
	分析化学Ⅰ	1.5	1年後期		○	○			
	分析化学Ⅱ	1.5	2年前期			○	○		
	臨床分析の基礎と応用	1.5	2年後期			○	○		
	製剤化のサイエンスⅠ	1.5	3年前期			○	○		
	製剤化のサイエンスⅡ	1.5	3年後期			○	○		
	医薬品開発と生産のながれ	1.5	4年前期			○	○		
化学系薬学	薬学基礎の化学・生物学	1.5	1年前期	○		○			
	有機化学Ⅰ	1.5	1年前期		○	○			
	有機化学Ⅱ	1.5	1年後期	○		○			
	有機化学Ⅲ	1.5	2年前期	△		○	△		
	有機化学Ⅳ	1.5	2年後期		○	○			
	天然資源Ⅰ	1.5	1年前期	△		○	○		
	天然資源Ⅱ	1.5	3年前期			○			
	生物有機化学	1.5	3年後期			○			
	創薬化学	1.5	4年前期			○			
生物系薬学	生化学Ⅰ	1.5	1年前期			○			
	生化学Ⅱ	1.5	1年後期		○	○			
	機能形態学Ⅰ	1.5	1年前期	△		○	○		
	機能形態学Ⅱ	1.5	1年後期	○		○			
	微生物学	1.5	2年前期	△		○	△		
	細胞生物学	1.5	2年前期		○	○			
	免疫学	1.5	2年後期			○			
	分子生物学	1.5	3年前期			○			
	衛生薬学導入科目	0.5	2年前期		○	○			
	衛生学Ⅰ	1.5	2年後期		○	○			
	衛生学Ⅱ	1.5	3年前期			○			
	衛生学Ⅲ	1.5	3年後期			○			

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	実務経験	独自
医療薬学	医療薬学導入科目	0.5	1年前期				○	●	
	薬理学Ⅰ	1.5	1年後期		○		○		
	薬理学Ⅱ	1.5	2年前期		○		○		
	患者・医薬品情報	1.5	2年前期		○	○	○	●	
	薬物動態Ⅰ	1.5	2年後期		○		○		
	薬物動態Ⅱ	1.5	3年前期				○		
	薬物治療Ⅰ	1.5	2年後期				○		
	薬物治療Ⅱ	1.5	3年前期				○		
	薬物治療Ⅲ	1.5	3年前期				○		
	薬物治療Ⅳ	1.5	3年後期				○		
	薬物治療Ⅴ	1.5	3年後期				○		
	薬物治療の個別化・最適化	1.5	4年前期				○		
	疾患・有害事象の症候	1.5	4年前期				○		
	薬物治療演習Ⅰ	0.5	3年後期				○	●	
	薬物治療演習Ⅱ	0.5	4年前期				○	●	
臨床薬学	臨床薬学導入科目	0.5	1年前期	○	○	○	○	●	
	医療と健康を支える薬剤師	1	3年後期				○	●	
	チーム医療	1	4年前期				○	●	
	実践実務の薬物治療	1	4年前期				○	●	
臨床実習	早期臨床体験学習	(1.5)	1～2年	○			○	●	
	実務実習事前学習	(7.5)	4年後期				○	●	
	薬局実務実習	(10)	5年				○	●	
	病院実務実習	(10)	5年				○	●	
薬学研究	研究入門	1	1年前期	○	○	○			
	研究倫理	1.5	1年後期			○			
	研究の現場	1	2年前期			○			○
薬学実習	物理系実習Ⅰ	(1)	1年	○	○	○			
	物理系実習Ⅱ	(1)	2年前期	○	○	○			
	化学系実習Ⅰ	(1)	1年	○	○	○			
	化学系実習Ⅱ	(1)	2年前期		○	○			
	生物系実習Ⅰ	(1)	1年	○	○	○			
	生物系実習Ⅱ	(1)	2年前期		○	○			
	生物系実習Ⅲ	(1)	2年後期		○	○	○		
	薬学研究実践実習	(13)	3～4年			○			○
薬学演習	サイエンスベースで考えるくすり学 ※選択科目	0.5	1年後期		○		○		○
	基礎薬学演習	2	2年後期		○		○		○
	総合薬学演習ⅠA	0.5	4年前期				○		○
	総合薬学演習ⅠB	2.5	4年後期				○		○
	総合薬学演習Ⅱ	6	6年後期				○		○
アドバンスト・コース	アドバンスト実務実習(病院)	(9)	5～6年				○	●	○
	アドバンスト実務実習(薬局)	(3～9)	5～6年				○	●	○
	海外実務研修	(3)	5～6年				○	●	○
	海外応用研修	(3)	5～6年				○		○
	応用研究	(4)	5～6年			○			○
	研究指導力育成実習	(1)	5～6年	○		○			○
	専門薬剤師特論Ⅰ	0.5	6年				○	●	○
	専門薬剤師特論Ⅱ	0.5	6年				○	●	○
	専門薬剤師特論Ⅲ	0.5	6年				○	●	○
	専門薬剤師特論Ⅳ	0.5	6年				○	●	○
	在宅医療	0.5	6年				○	●	○
	臨床栄養学	0.5	6年			○			○
	救命救急・災害医療	0.5	6年				○	●	○
	医療現場におけるヒューマンエラー	0.5	6年	○					○
	医療倫理学	0.5	6年	○					○
	緩和医療薬学	0.5	6年				○		○
	臨床研究・統計	0.5	6年				○		○
治験	0.5	6年				○	●	○	

学科目	科目名	単位数	開講	ホリゾン1	ホリゾン2	ホリゾン3	ホリゾン4	実務経験	独自
	医薬品製造学	0.5	6年			○			○
	医療保険概論	0.5	6年		○			●	○
	食品学特論	0.5	6年			○			○
	司法と薬学	0.5	6年		○			●	○
	国際基準の英語(TOEFL対策)	0.5	6年	○					○
	ファーマシストのための実践英会話	0.5	6年	○					○
	薬事と行政	0.5	6年		○				○
	衛生学特論	0.5	6年			○			○
	応用免疫学	0.5	6年			○			○
	リーダーシップ学	0.5	6年	○					○
	ステップアップ・プレゼンテーション	0.5	6年	○					○
	医薬品等に関わる規制調和と国際標準	0.5	6年			○			○
	医薬品開発戦略論	0.5	6年			○		●	○
	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	0.5	6年		○			●	○
	放射線応用学	0.5	6年			○			○
	ゲノム薬理への道	0.5	5年	○		○	○		○
	実用数学A	0.5	5年	○					○
	実用数学B	0.5	5年	○					○
	環境衛生学	0.5	5年			○			○
	アカデミック・ライティング	0.5	5年	○					○
	臨床漢方治療学	0.5	5年			○		●	○
	構造解析学A	0.5	5年			○			○
	構造解析学B	0.5	5年			○			○
	一般統計	0.5	5年		○				○
	一般薬理学	0.5	5年				○		○
	実践薬剤学	0.5	5年				○		○
	栄養と保健衛生	0.5	5年			○			○
	創薬を支える物理化学	0.5	6年			○			○
	薬剤師への有機化学	1	6年			○			○
	生物学特講Ⅰ	0.5	6年			○			○
	生物学特講Ⅱ	1	6年			○			○
	食生活と保健衛生	0.5	6年			○			○
	薬理学の基礎と呼吸器疾患	1	6年				○		○
	消化器・代謝系疾患集中講義	0.5	6年				○		○
	知覚・脳神経特論	0.5	6年				○		○
	循環器系・内分泌系集中講義	1	6年				○		○
	臨床を支える薬剤学	1	6年				○		○
	日本社会の医療と法	0.5	6年		○				○
	薬学特別演習	2	6年				○		○
特別実習	医療薬学特別実習	(16)	5～6年			○			

2025年度 薬学科 カリキュラムツリー (1年生)

DP1

豊かな生活を送るための文化や自然に関する知識と、生命・健康を科学するためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力、情報処理力を獲得する。

DP2

薬とヘルスケアの専門家として求められる自己管理能力、チームワーク力、倫理観、社会的責任感を修得する。

DP3

薬とヘルスケアの専門家として活躍するために必要な研究遂行能力と課題発見・問題解決能力、さらには生涯にわたって主体的に学習しようという意欲をもつ。

DP4

薬とヘルスケアの専門家に必要となる高度な知識と技術を身に付ける。



DP1 教養系発展科目

- 医療現場におけるヒューマンエラー
- 医療倫理学
- 国際連年の英語 (TOEFL対策)
- 英会話
- リーディング・ライティング
- プレゼンテーション
- 実用数学A
- 実用数学B
- アカデミックライティング

DP1 情報系発展科目

- ゲノム薬理への道

DP1 行政系発展科目

- 医薬品評価レギュラトリーサイエンス
- 医療保険概論
- 司法と薬学
- 薬事と行政
- 一般統計
- 日本社会の医療と法

DP2 創薬科学系発展科目

- 医薬品製造学
- 医薬品製造に関する規制調和と国際標準
- 医薬品開発戦略論
- 放射線応用学
- 構造解析学A
- 構造解析学B
- 創薬を支える物理化学

DP2 創薬科学系発展科目

- 薬剤師への有機化学
- 臨床薬理学
- 生物学特論 I
- 生物学特論 II
- 応用免疫学

DP3 必修

- 医療薬学特別実習

DP3 選択

- 応用研究

DP1 DP3 選択

- 研究指導力育成実習

DP3 創薬科学系発展科目

- 食品学特論
- 衛生学特論
- 環境衛生学
- 栄養と保健衛生
- 食生活と保健衛生
- 臨床栄養学

DP3 創薬科学系発展科目

- 創薬を支える物理化学

DP3 創薬科学系発展科目

- 創薬化学

DP3 創薬科学系発展科目

- 天然資源 II
- 生物有機化学
- 分子生物学

DP3 創薬科学系発展科目

- 製剤化のサイエンス I
- 製剤化のサイエンス II

DP3 創薬科学系発展科目

- 物理化学 II
- 分析化学 II
- 臨床分析の基礎と応用

DP3 創薬科学系発展科目

- 衛生学 II
- 衛生学 III

DP3 創薬科学系発展科目

- 衛生学導入科目
- 微生物学
- 衛生学 I

DP3 創薬科学系発展科目

- 物理化学 I
- 分析化学 I
- 有機化学 I
- 機能形態学 II
- 天然資源 I

DP3 創薬科学系発展科目

- 薬学基礎の数学・物理学
- 薬学基礎の化学・生物学

DP3 創薬科学系発展科目

- 薬理学の基礎と呼吸器疾患
- 一般薬理学
- 専門薬剤師特論 I (緩和医療)
- 専門薬剤師特論 II (がん)
- 専門薬剤師特論 III (精神疾患)
- 専門薬剤師特論 IV (生活習慣病)
- 救命救急・災害医療

DP4 発展実習

- アドバンスト実務実習 (病院)
- アドバンスト実務実習 (薬局)
- 海外実務研修
- 海外応用研修

DP4 薬物治療系発展科目

- 薬理学の基礎と呼吸器疾患
- 緩和医療学
- 治療
- 循環器系・内分泌系集中講義
- 消化器系・代謝系集中講義
- 知覚・脳神経特論
- 実践薬理学
- 在宅医療
- 臨床研究・統計
- 薬学特別実習

DP4 総合薬学演習 II



DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP2 ハイオクスタティクス

DP2 データサイエンスと医療(仮)

DP2 データサイエンスの理解と応用

DP2 AI時代のデータサイエンスと倫理

DP2 ビジネスソフトウェアの基礎と応用

DP2 社会と薬学 II

- 医療人としての薬剤師

DP2 社会と薬学 I

- ファーマシューティカルコミュニケーション

DP2 薬剤師のキャリアデザイン

- 薬学の心構え II

DP2 物理化学 III

- 有機化学 III
- 分析化学 IV
- 細胞生物学
- 免疫学

DP2 物理化学 II

- 生化学 I
- 生化学 II
- 機能形態学 I
- 機能形態学 II
- 天然資源 II

DP2 物理化学 I

- 薬学基礎の数学・物理学
- 薬学基礎の化学・生物学

DP2 衛生学 II

- 衛生学 III

DP2 衛生学導入科目

- 微生物学
- 衛生学 I

DP2 創薬化学

DP2 天然資源 II

- 生物有機化学
- 分子生物学

DP2 製剤化のサイエンス I

DP2 製剤化のサイエンス II

DP2 物理化学 II

- 分析化学 II
- 臨床分析の基礎と応用

DP2 衛生学 II

- 衛生学 III

DP2 衛生学導入科目

- 微生物学
- 衛生学 I

DP2 物理化学 I

- 生化学 I
- 生化学 II
- 機能形態学 I
- 機能形態学 II
- 天然資源 I

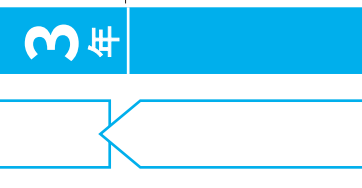
DP2 薬学基礎の数学・物理学

- 薬学基礎の化学・生物学

DP2 薬学基礎の数学・物理学

- 薬学基礎の化学・生物学

DP2 薬学基礎の化学・生物学



DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング



DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

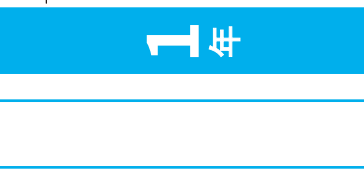
- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング



DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング



DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化B

- 医療・薬学英語 I A
- 医療・薬学英語 I B

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

DP1 人と文化D

- 医療・薬学英語 III

DP1 人と文化E

- 医療・薬学英語 II A
- 医療・薬学英語 II B

DP1 人と文化A

- 英語リーディング・ライティングB
- 英語プレゼンテーション

DP1 人と文化C

- 英語リーディング・ライティングA
- 英語リスニング・スピーキング

本カリキュラムは変更となる可能性があります

2025年度 薬学科 カリキュラムツリー (2年生)

DP1

豊かな生活を送るための文化や自然に関する知識と、生命・健康を科学するためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力、情報処理力を獲得する。

DP2

薬とヘルスケアの専門家として求められる自己管理能力、チームワーク力、倫理観、社会的責任感を修得する。

DP3

薬とヘルスケアの専門家として活躍するために必要な研究遂行能力と課題発見・問題解決能力、さらには生涯にわたって主体的に学習しようという意欲をもつ。

DP4

薬とヘルスケアの専門家に必要となる高度な知識と技術を身に付ける。

5・6年 ステップ③：薬の専門家へ

4年 ステップ②：飛躍準備

3年

2年 ステップ①：基礎強化

1年

DP1 教養系発展科目

- ▶ 医療現場におけるヒューマンエラー
- ▶ 医療倫理学
- ▶ 国際連年の英語 (TOEFL対策)
- ▶ フォーマシストのための実践英会話
- ▶ リーダーシップ学
- ▶ ステップアップ・プレゼンテーション
- ▶ 実用数学A
- ▶ 実用数学B
- ▶ アカデミックライティング

DP1 情報系発展科目

- ▶ データサイエンスの理解と応用
- ▶ ネットワーク
- ▶ デジタルマーケティング

DP1 行政系発展科目

- ▶ 医薬品審査レギュラトリーサイエンス
- ▶ 医療保険概論
- ▶ 司法と薬学
- ▶ 薬事と行政
- ▶ 一般統計
- ▶ 日本社会の医療と法

DP2 創薬科学系発展科目

- ▶ 医薬品製造学
- ▶ 医薬品製造に関する規制調和と国際標準
- ▶ 医薬品開発戦略論
- ▶ 放射線応用学
- ▶ 構造解析学A
- ▶ 構造解析学B
- ▶ 創薬を支える物理化学

DP2 創薬科学系発展科目

- ▶ 創薬師への有機化学
- ▶ 臨床薬理学
- ▶ 生物学特論 I
- ▶ 生物学特論 II
- ▶ 応用免疫学

DP3 衛生学系発展科目

- ▶ 食品学特論
- ▶ 衛生学特論
- ▶ 環境衛生学
- ▶ 栄養と保健衛生
- ▶ 食生活と保健衛生
- ▶ 臨床薬理学

DP3 衛生学系発展科目

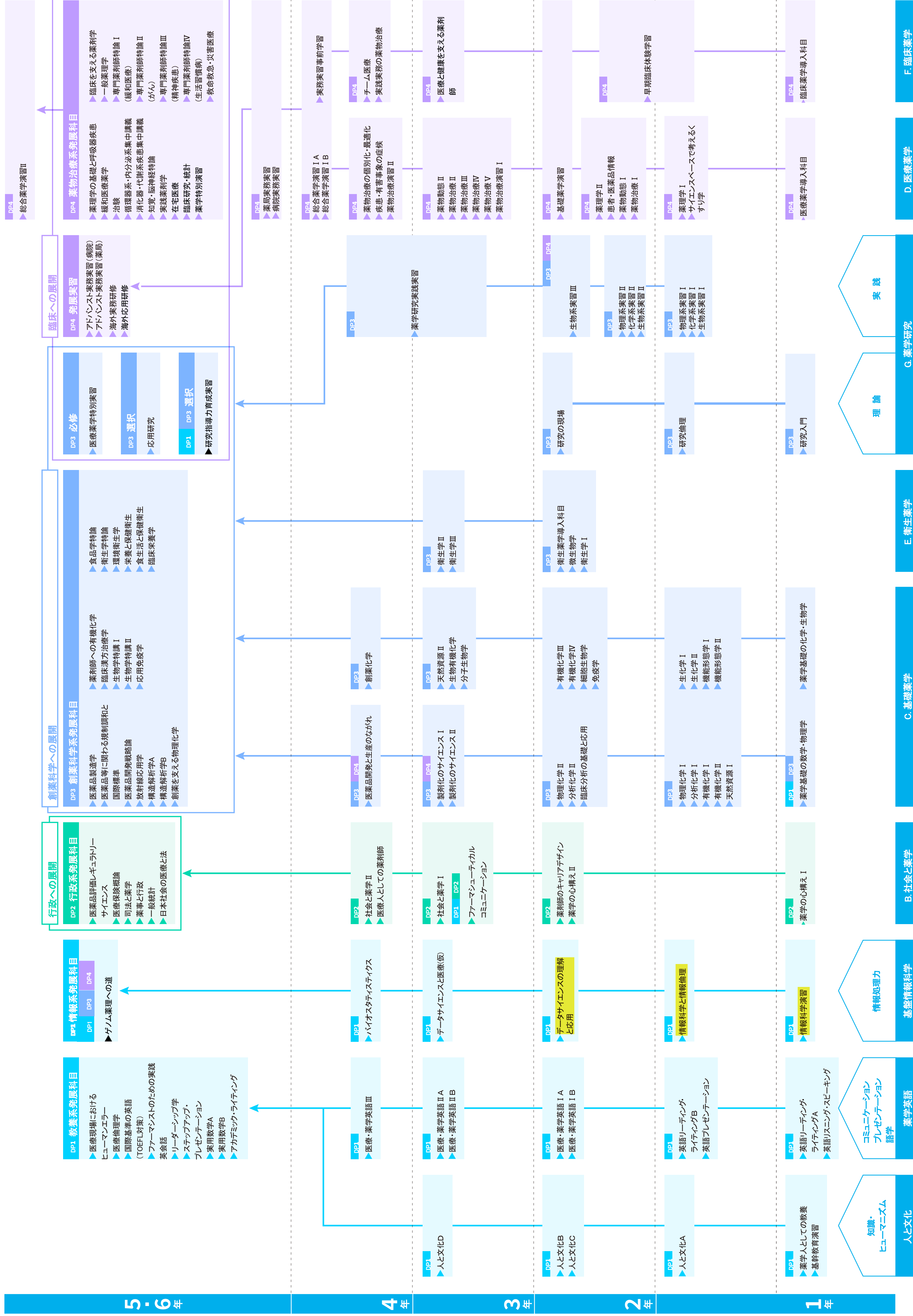
- ▶ 創薬化学
- ▶ 天然資源 II
- ▶ 生物有機化学
- ▶ 分子生物学

DP4 発展実習

- ▶ アドバンスド実務実習 (病院)
- ▶ アドバンスド実務実習 (薬局)
- ▶ 海外実務研修
- ▶ 海外応用研修

DP4 発展実習

- ▶ 薬理学の基礎と呼吸器疾患
- ▶ 一般薬理学
- ▶ 専門薬剤師特論 I (緩和医療)
- ▶ 専門薬剤師特論 II (がん)
- ▶ 専門薬剤師特論 III (精神疾患)
- ▶ 専門薬剤師特論 IV (生活習慣病)
- ▶ 救命救急・災害医療



本カリキュラムは変更となる可能性があります

2025年度 薬学科(6年制)カリキュラム・マップ(3~5年生用)

卒業に必要な単位数 188単位

※ 選択必修科目(選必)
* 選択科目(選択)

カリキュラムナンバー

各科目のナンバリングは、『分類記号-段階記号-通し番号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考してください。

分類記号	GE (General Education)	段階記号	導入(基礎的な科目)
LA	(Language)	i	導入(基礎的な科目)
PH	(Physics)	ii	展開(基礎科目を受けて開講する科目)
CH	(Chemistry)	iii	先進(その分類における発展的な科目)
BI	(Biology)		
CO	(Pharmacology)		
PC	(Pharmaceutics)		
CL	(Clinical Pharmacy)		
CP	(Comprehensive Pharmacy)		

学 科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

人と文化
9単位

GE-1-i-01 薬学人としての教養入門
詳細欄参照 ※A欧州の言語と風土 他

詳細欄参照 ※B日本の伝統文化と医療 他
※C医療社会学論 他

詳細欄参照 ※Dロジカルライティング 他

詳細欄参照 ※E外国からみた日本 他

薬学英語
12単位

LA-1-i-01 英語リーディング・ライティングA
LA-1-i-02 英語リーディング・ライティングB
LA-1-i-03 英語コミュニケーションA
LA-1-i-04 英語コミュニケーションB

LA-2-ii-03 医療・薬学英語 I A
LA-2-ii-04 医療・薬学英語 I B

LA-3-iii-01 医療・薬学英語 II A
LA-3-iii-02 医療・薬学英語 II B

情報科学
3.5単位

GE-1-i-10 情報科学と情報倫理
GE-1-i-11 情報科学演習

GE-3-ii-01 情報リテラシー

CP-3-ii-01 フェーマンエンテカルエクスニケーション
CP-3-ii-02 薬学と社会 I

薬学と社会
8.5単位

CP-1-i-01 薬学の心構え I
CP-1-i-02 薬学の心構え II

CP-3-iii-01 医療人としての薬剤師
CP-4-iii-02 薬学と社会 II

CP-4-iii-01 医療人としての薬剤師
CP-4-iii-02 薬学と社会 II

物理系薬学
16.5単位

PH-1-i-01 数学
PH-1-i-02 物理学
PH-1-i-03 物理化学 I
PH-1-i-04 分析化学 I

PH-2-ii-01 物理化学 II
PH-2-ii-02 分析化学 II
PH-2-iii-03 臨床分析の基礎と応用

PC-3-i-01 製剤化のサイエンス I
PC-3-ii-01 製剤化のサイエンス II

化学系薬学
15単位

CH-1-i-01 化学
CH-1-i-02 有機化学 I
CH-1-i-03 有機化学 II A
CH-1-i-04 有機化学 II B
CH-1-i-05 天然資源 I

CH-2-ii-01 有機化学 III A
CH-2-ii-02 有機化学 III B

CH-3-iii-01 天然資源 II
CH-3-iii-02 生物有機化学

生物系薬学
18単位

BI-1-i-05 生物学
BI-1-i-01 生化学 I
BI-1-i-02 生化学 II
BI-1-i-03 機能形態学 I
BI-1-i-04 機能形態学 II

BI-2-ii-01 微生物学
BI-2-ii-02 細胞生物学
BI-2-ii-03 免疫学

BI-3-iii-01 分子生物学
BI-3-iii-02 衛生学 I
BI-3-iii-03 衛生学 II

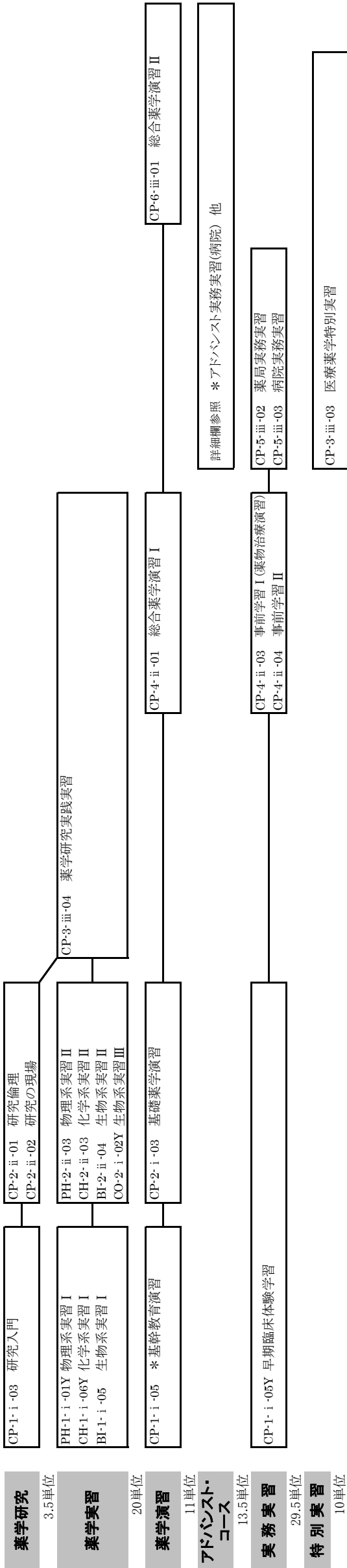
医療薬学
18単位

CO-2-i-01 薬理学 I
CO-2-ii-01 薬理学 II
CL-2-i-01 患者・医薬品情報
PC-2-i-01 薬物動態 I
CL-2-i-02 薬物治療 I

PC-3-ii-01 薬物動態 II
CL-3-ii-01 薬物治療 II
CL-3-ii-02 薬物治療 III
CL-3-ii-03 薬物治療 IV
CL-3-ii-04 薬物治療 V

CL-4-iii-02 薬物治療の個別化・最適化
CL-4-iii-03 疾患・有害事象の症候

←2025年度の3年生のため、開講



38.5単位(必修37、選必修1.5) 35.5単位(必修32.5、選必修3) 27単位(必修25.5、選必修1.5) 37.5単位(必修36、選必修1.5) 20単位(必修20) 29.5単位(必修16、選択13.5)

『人と文化』科目の詳細

GE-1-i-02 ※A欧州の言語と風土	GE-2-i-12 ※C法学ゼミナール
GE-1-i-03 ※Aコミュニケーション概論	GE-2-i-13 ※C心の科学
GE-1-i-14 ※A倫理学概論	GE-2-i-14 ※Cスポーツ科学
GE-1-i-15 ※A西洋文明の形成と展開	GE-2-i-15 ※C生活環境と科学
GE-1-i-06 ※A政治と医療	GE-2-i-16 ※Cヘルスマニケーション学ゼミナール
GE-1-i-13 ※A医療心理学	GE-3-i-01 ※Dロジカルライティング
GE-1-i-16 ※A医療に隣接する社会分析	GE-3-i-02 ※Dエッセー論
GE-1-i-09 ※Aスポーツ実技	GE-3-i-03 ※D法学概論
GE-2-i-16 ※B日本の伝統文化と医療	GE-3-i-04 ※D素粒子と放射線医療
GE-2-i-02 ※B西洋医学の源流と文化	GE-3-i-05 ※D人間の発達
GE-2-i-10 ※B医療哲学ゼミナール	GE-3-i-06 ※Dスポーツセラピー
GE-2-i-04 ※B現代社会と薬学	GE-3-i-07 ※D線形理論の医療への応用
GE-2-i-05 ※Bジェンダー論	GE-4-i-02 ※E外国から見た日本
GE-2-i-06 ※B心理学ゼミナール	GE-4-i-03 ※Eアジアの人と文化
GE-2-i-15 ※B東洋の文化と芸術	GE-4-i-12 ※E国際倫理学
GE-2-i-07 ※B体育実技	GE-4-i-05 ※E国際ジャーナリズム
GE-2-i-09 ※C医療社会論	GE-4-i-06 ※E世界の法と経済
GE-2-i-03 ※C生命倫理	GE-4-i-11 ※E世界の統合医療とデジタルヘルスケア
GE-2-i-11 ※C教育学ゼミナール	GE-4-i-10 ※E有用植物の歴史と応用
	GE-4-i-13 ※E微分方程式の医療への応用

『アドバンスト・コース』の詳細

LA-5-iii-01 *国際基準の英語(TOEFL対策)	CP-5-iii-01	LA-5-iii-01	CP-5-iii-01
*フラーメンソのための実践英会話	LA-5-iii-02	LA-5-iii-02	CP-5-iii-02
*薬事と行政	GE-5-iii-02	GE-5-iii-02	CP-5-iii-02
*衛生学特論	BI-5-iii-02	BI-5-iii-02	CP-5-iii-02
*応用免疫学	BI-5-iii-03	BI-5-iii-03	CP-5-iii-03
*リーディングシップ学	GE-5-iii-03	GE-5-iii-03	CP-6-iii-15
*マリアージュ・プレゼンテーション	GE-5-iii-04	GE-5-iii-04	CP-6-iii-16
*医薬品等に関する規制講義と国際標準	PC-5-iii-01	PC-5-iii-01	CP-6-iii-17
*医薬品開発戦略論	CP-5-iii-12	CP-5-iii-12	CP-6-iii-18
*医薬品評価/キュアトリ-サイエンス	PH-5-iii-01	PH-5-iii-01	CP-6-iii-19
*実用数学A	GE-5-iii-05	GE-5-iii-05	CP-6-iii-20
*実用数学B	GE-5-iii-06	GE-5-iii-06	CP-6-iii-21
*環境衛生学	PH-5-iii-02	PH-5-iii-02	CP-6-iii-22
*応用分子生物学	BI-5-iii-04	BI-5-iii-04	CP-6-iii-23
*アカデミック・ライティング	LA-5-iii-03	LA-5-iii-03	CP-6-iii-24
*健康食品概論	BI-5-iii-05	BI-5-iii-05	CP-6-iii-25
*臨床漢方治療学	CP-5-iii-14	CP-5-iii-14	CP-6-iii-26
*放射線応用化学	BI-5-iii-09	BI-5-iii-09	CP-6-iii-27
*ゲノム情報を利用した創薬	CP-6-iii-28	CP-6-iii-28	
*セルフレイディング	CP-5-iii-15	CP-5-iii-15	
*構造解析学A	CH-5-iii-02	CH-5-iii-02	
*構造解析学B	CH-5-iii-03	CH-5-iii-03	

2025年度 薬学科(6年制)カリキュラム・マップ(6年生用)

卒業に必要な単位数 188単位

※ 選択必修科目(選択)
* 選択科目(選択)

カリキュラムナンバー

各科目のナンバリングは、『分類記号ー段階記号ー通し番号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考してください。

分類記号	GE (General Education)	段階記号	導入(基礎的な科目)
LA	(Language)	i	導入(基礎的な科目)
PH	(Physics)	ii	展開(基礎科目を受けて開講する科目)
CH	(Chemistry)	iii	先進(その分類における発展的な科目)
BI	(Biology)		
CO	(Pharmacology)		
PC	(Pharmaceutics)		
CL	(Clinical Pharmacy)		
CP	(Comprehensive Pharmacy)		

学 科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
人と文化 9単位	GE-1-i-01 薬学人としての教養入門 詳細参照 ※A欧州の言語と風土 他	詳細参照 ※B日本の伝統文化と医療 他 ※C医療社会論 他	詳細参照 ※Dグローバルライティング 他	詳細参照 ※E外国からみた日本 他		
薬学英語 12単位	LA-1-i-01 英語リーディング・ライティングA LA-1-i-02 英語リーディング・ライティングB LA-1-i-03 英語スピーキングA LA-1-i-04 英語スピーキングB	LA-2-ii-01 英語ディスカッションA LA-2-ii-02 英語ディスカッションB LA-2-ii-03 医療・薬学英語 I A LA-2-ii-04 医療・薬学英語 I B	LA-3-iii-01 医療・薬学英語 II A LA-3-iii-02 医療・薬学英語 II B			
情報科学 3.5単位	GE-1-i-10 情報科学と情報倫理 GE-1-i-11 情報科学演習		GE-3-ii-01 情報リテラシー			
薬学と社会 8.5単位	CP-1-i-01 薬学の心構え I CP-1-i-02 薬学の心構え II		CP-3-ii-01 フェーマン・エンフェイナル・エム・エー・エー・エー・エー・エー CP-3-ii-02 薬学と社会 I	CP-4-iii-01 医療人としての薬剤師 CP-4-iii-02 薬学と社会 II		
物理系薬学 16.5単位	PH-1-i-01 数学 PH-1-i-02 物理学 PH-1-i-03 物理化学 I PH-1-i-04 分析化学 I	PH-2-ii-01 物理化学 II PH-2-ii-02 分析化学 II PH-2-iii-03 臨床分析の基礎と応用	PC-3-i-01 製剤化のサイエンス I PC-3-ii-01 製剤化のサイエンス II	CL-4-iii-01 バイオスタテイスティクス PC-4-iii-01 医薬品開発と生産のながれ		
化学系薬学 15単位	CH-1-i-01 化学 CH-1-i-02 有機化学 I CH-1-i-03 有機化学 II A CH-1-i-04 有機化学 II B CH-1-i-05 天然資源 I	CH-2-ii-01 有機化学 III A CH-2-ii-02 有機化学 III B	CH-3-iii-01 天然資源 II CH-3-iii-02 生物有機化学	CH-4-iii-01 創薬化学		
生物系薬学 18単位	BI-1-i-05 生物学 BI-1-i-01 生化学 I BI-1-i-02 生化学 II BI-1-i-03 機能形態学 I BI-1-i-04 機能形態学 II	BI-2-ii-01 微生物学 BI-2-ii-02 細胞生物学 BI-2-ii-03 免疫学	BI-3-iii-01 分子生物学 BI-3-iii-02 衛生学 I BI-3-iii-03 衛生学 II	BI-4-iii-01 衛生学 III		
医療薬学 18単位		CO-2-i-01 薬理学 I CO-2-ii-01 薬理学 II 患者・医薬品情報 PC-2-i-01 薬物動態 I CL-2-i-02 薬物動態 I	PC-3-ii-01 薬物動態 II CL-3-ii-01 薬物動態 II CL-3-ii-02 薬物動態 III CL-3-ii-03 薬物動態 IV CL-3-ii-04 薬物動態 V	CL-4-iii-02 薬物治療の個別化・最適化 CL-4-iii-03 疾患・有害事象の症候		

2025年度 薬学科(3年生以上) ディプロマ・ポリシー対応表／実務経験のある教員担当科目／独自科目

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学科は6年以上在学し、薬学科3つのポリシーの基本方針の下に「臨床の場において高い倫理観と高度な専門性を発揮できる薬剤師の養成」という本学科の教育目的を達成するために編成された授業科目を履修し、次に掲げる5つの能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与する。

1. 見識ある医療人としての豊かな人間性・高い責任感・倫理観や幅広い視野・患者本位の視点・薬剤師としての心構えを有する。
2. 高度化、専門化する医療に対応できる薬学の基礎知識と専門知識を有する。
3. 科学的・論理的な思考能力を基礎として、問題を構造化し、解決する能力を有する。
4. チーム医療や地域医療において、薬の専門家として活躍するために必要な臨床現場での実践的な技能とコミュニケーション能力を有する。
5. グローバル化に対応した国際感覚や語学力を有する。

○:該当する

△:一部該当する

薬学準備教育科目（24.5単位）

●:実務経験のある教員担当科目

学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	ポリシー5	実務経験	独自
人と文化	薬学人としての教養入門	1.5	1年前期	○		△				○
	A欧州の言語と風土	1.5	1年後期	○						○
	Aコミュニケーション概論	1.5	1年後期	○						○
	A倫理学概論	1.5	1年後期	○						○
	A西洋文明の形成と展開	1.5	1年後期	○						○
	A政治と医療	1.5	1年後期	○						○
	A医療心理学	1.5	1年後期	○						○
	A医療に隣接する社会分析	1.5	1年後期	○						●
	Aスポーツ実技	1.5	1年後期	○						○
	B日本の伝統文化と医療	1.5	2年前期	○			○			○
	B西洋医学の源流と文化	1.5	2年前期	○						○
	B医療哲学ゼミナール	1.5		○		△				○
	B現代社会と薬学	1.5	2年前期	○						○
	Bジェンダー論	1.5	2年前期	○						○
	B心理学ゼミナール	1.5	2年前期	○						○
	B東洋の文化と芸術	1.5	2年前期	○		△		○		○
	B体育実技	1.5	2年前期	○						○
	C医療社会論	1.5	2年後期	○						○
	C生命倫理	1.5	2年後期	○		△				○
	C教育学ゼミナール	1.5	2年後期	○		△		△		○
	C法学ゼミナール	1.5	2年後期	○		○				○
	C心の科学	1.5	2年後期	○						○
	Cスポーツ科学	1.5	2年後期	○						○
	C生活環境と科学	1.5	2年後期	○		○				○
	Cヘルスコミュニケーション学ゼミナール	1.5	2年後期	○				○		○
	Dロジカルライティング	1.5		○		△				○
	Dエコロジー論	1.5	3年後期	○						○
	D法学概論	1.5	3年後期	○		○				○
	D素粒子と放射線医療	1.5	3年後期	○		○				○
	D人間の発達	1.5	3年後期	○						○
	Dスポーツセラピー	1.5	3年後期	○						○
	D線形理論の医療への応用	1.5	3年後期	○		○				○
	E外国からみた日本	1.5	4年前期	○		△		○		○
Eアジアの人と文化	1.5	4年前期	○		△		△		○	
E国際倫理学	1.5	4年前期	○				○		○	
E国際ジャーナリズム	1.5	4年前期	○						○	
E世界の法と経済	1.5	4年前期	○		○				○	
E微分方程式の医療への応用	1.5	4年前期	○		○				○	
E世界の統合医療とメディカルアロマセラピー	1.5	4年前期	○						○	
E有用植物の歴史と応用	1.5	4年前期	○						○	
薬学英語	英語リーディング・ライティングA	1.5	1年前期			△		○		○
	英語リーディング・ライティングB	1.5	1年後期			△		○		○
	英語コミュニケーションA	1.5	1年前期			△		○		○
	英語コミュニケーションB	1.5	1年後期			△		○		○

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	実務経験	独自
	医療・薬学英語 I A	1.5	2年前期			△		○		○
	医療・薬学英語 I B	1.5	2年後期			△		○		○
	医療・薬学英語 II A	1.5	3年前期			△		○		○
	医療・薬学英語 II B	1.5	3年後期			△		○		○
情報科学	情報科学と情報倫理	1.5	1年前期	○						△
	情報科学演習	0.5	1年後期	○						△
	情報リテラシー	1.5	3年前期	○	○	○				△

↑2025年度の3年生のため、開講

薬学専門教育科目 (163.5単位)

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	実務経験	独自
薬学と社会	薬学の心構え I	1	1年前期	○	△	△	△		●	
	薬学の心構え II	1.5	1年後期	○			○			
	ファーマシューティカルコミュニケーション	1.5	3年前期	○			○		●	
	医療人としての薬剤師	1.5	4年前期	○			○		●	
	薬学と社会 I	1.5	3年後期	○	○					
	薬学と社会 II	1.5	4年前期	○	○				●	
物理系薬学	数学	1.5	1年前期	△	○	△				
	物理学	1.5	1年前期	△	○					
	物理化学 I	1.5	1年後期		○	○				
	物理化学 II	1.5	2年前期		○	○				
	分析化学 I	1.5	1年後期		○					
	分析化学 II	1.5	2年前期		○					
	臨床分析の基礎と応用	1.5	2年後期		○	○				
	製剤化のサイエンス I	1.5	3年前期		○					
	製剤化のサイエンス II	1.5	3年後期		○					
	バイオスタティスティクス	1.5	4年前期		○				●	
	医薬品開発と生産のながれ	1.5	4年前期		○					
化学系薬学	化学	1.5	1年前期		○					
	有機化学 I	1.5	1年前期		○					
	有機化学 II A	1.5	1年後期		○					
	有機化学 II B	1.5	1年後期		○	△				
	有機化学 III A	1.5	2年前期		○	○				
	有機化学 III B	1.5	2年後期		○					
	天然資源 I	1.5	1年前期	△	○					
	天然資源 II	1.5	3年前期		○					
	生物有機化学	1.5	3年後期		○					
	創薬化学	1.5	4年前期		○					
生物系薬学	生物学	1.5	1年前期	○	○					
	生化学 I	1.5	1年前期	△	○					
	生化学 II	1.5	1年後期		○					
	機能形態学 I	1.5	1年前期	△	○					
	機能形態学 II	1.5	1年後期		○					
	微生物学	1.5	2年前期		○					
	細胞生物学	1.5	2年前期		○					
	免疫学	1.5	2年後期		○					
	分子生物学	1.5	3年前期		○					
	衛生学 I	1.5	3年前期		○					
	衛生学 II	1.5	3年後期		○					
衛生学 III	1.5	4年前期		○						
医療薬学	薬理学 I	1.5	2年前期		○					
	薬理学 II	1.5	2年後期		○					
	患者・医薬品情報	1.5	2年前期		○	○			●	
	薬物動態 I	1.5	2年後期		○					
	薬物動態 II	1.5	3年前期		○					
	薬物治療 I	1.5	2年後期		○					
	薬物治療 II	1.5	3年前期		○					
	薬物治療 III	1.5	3年前期		○					
	薬物治療 IV	1.5	3年後期		○					
	薬物治療 V	1.5	3年後期		○					
	薬物治療の個別化・最適化	1.5	4年前期		○					
疾患・有害事象の症候	1.5	4年前期		○						

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	実務経験	独自
薬学研究	研究入門	1	1年後期	○		△				
	研究倫理	1.5	2年前期	○		△				
	研究の現場	1	2年後期		○	○				○
薬学演習	基幹教育演習 ※選択科目	1	1年前期		○					○
	基礎薬学演習 *①	2	2年後期		○					○
	総合薬学演習Ⅰ	3	4年後期		○					○
	総合薬学演習Ⅱ	6	6年後期		○					○
薬学実習	物理系実習Ⅰ	(1)	1年後期		○	○				
	物理系実習Ⅱ	(1)	2年前期		○	○				
	化学系実習Ⅰ	(1)	1年後期		○	○				
	化学系実習Ⅱ	(1)	2年前期		○	○				
	生物系実習Ⅰ	(1)	1年後期		○	○				
	生物系実習Ⅱ	(1)	2年前期		○	○				
	生物系実習Ⅲ	(1)	2年後期		○	○				
	薬学研究実践実習	(13)	3~4年		○	○	△	○		○
アドバンスト・コース	アドバンスト実務実習(病院)	(9)	5~6年		○	○	○		●	○
	アドバンスト実務実習(薬局)	(3~9)	5~6年		○	○	○		●	○
	海外実務研修	(3)	5~6年		○	○	○	○	●	○
	海外応用研修	(3)	5~6年		○	○	○	○		○
	応用研究	(4)	5~6年		○	○				○
	専門薬剤師特論Ⅰ	0.5	6年		○		△		●	○
	専門薬剤師特論Ⅱ	0.5	6年		○		△		●	○
	専門薬剤師特論Ⅲ	0.5	6年		○		△		●	○
	専門薬剤師特論Ⅳ	0.5	6年		○		△		●	○
	在宅医療	0.5		○	○		○		●	○
	臨床栄養学	0.5	6年		○					○
	救命救急・災害医療	0.5	6年		○		○		●	○
	チーム医療	1	6年		○		○			○
	医療現場におけるヒューマンエラー	0.5	6年		○	○	○			○
	医療倫理学	0.5	6年	○	○					○
	緩和医療薬学	0.5	6年	○	○		○			○
	臨床研究・統計	0.5	6年		○					○
	治験	0.5	6年		○				●	○
	医薬品製造学	0.5	5年		○					○
	医療保険概論	0.5	6年		○				●	○
	食品学特論	0.5	5年		○					○
	司法と薬学	0.5	6年		○				●	○
	国際基準の英語(TOEFL対策)	0.5	5年	○				○		○
	ファーマシストのための実践英会話	0.5	6年	○			○	○		○
	薬事と行政	0.5	5年	○	○					○
	衛生学特論	0.5	5年		○					○
	応用免疫学	0.5	5年		○					○
	リーダーシップ学	0.5	6年	○		○				○
	ステップアップ・プレゼンテーション	0.5	6年	○		○				○
	医薬品等に関わる規制調和と国際標準	0.5	5年		○			○		○
	医薬品開発戦略論	0.5	6年		○				●	○
	医薬品評価レギュラトリーサイエンス	0.5	6年		○				●	○
	実用数学A	0.5	5年		○					○
	実用数学B	0.5	5年		○					○
	環境衛生学	0.5	6年		○					○
	応用分子生物学	0.5			○					○
	アカデミック・ライティング	0.5	5年				△		○	○
	健康食品概論	0.5			○					○
	臨床漢方治験学	0.5	6年		○				●	○
	放射線応用学	0.5	6年	○	○	○				○
ゲノム情報を利用した創薬	0.5	6年		○					○	
セルフレイケーション	0.5	5年		○					○	
構造解析学A	0.5	5年		○					○	
構造解析学B	0.5	5年		○					○	
一般統計	0.5	5年		○					○	
実践統計学	0.5	5年	○	○					○	
一般薬理学	0.5	5年		○					○	

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	実務経験	独自
	実践薬剤学	0.5	5年	○	○					○
	栄養と保健衛生	0.5	5年		○					○
	創薬を支える物理化学	0.5	6年		○					○
	薬剤師への有機化学	1	6年		○	○				○
	生物学特講 I	0.5	6年		○					○
	生物学特講 II	1	6年		○					○
	食生活と保健衛生	0.5	6年		○					○
	薬理学の基礎と呼吸器疾患	1	6年		○					○
	消化器・代謝系疾患集中講義	0.5	6年		○					○
	知覚・脳神経特論	0.5	6年		○					○
	循環器系・内分泌系集中講義	1	6年		○					○
	臨床を支える薬剤学	1	6年		○					○
	日本社会の医療と法	0.5	6年	○	○					○
	実践実務の薬物治療	1	6年		○					○
	薬学特別演習	2	6年		○					○
実務実習	早期臨床体験学習	1.5	1~2年	○			△		●	
	事前学習 I (薬物治療演習)	(0.5)	4年後期	○	○	○	○		●	
	事前学習 II	(7.5)	4年後期	○	○	○	○		●	
	薬局実務実習	(10)	5年前期		○	○	○		●	
	病院実務実習	(10)	5年前期		○	○	○		●	
特別実習	医療薬学特別実習	(10)	5~6年		○	○	△	○		

*① 3~5年生対象

2025年度 創薬科学科(4年制)カリキュラム・マップ(2年生)

卒業に必要な単位数 125単位

カリキュラムナンバー

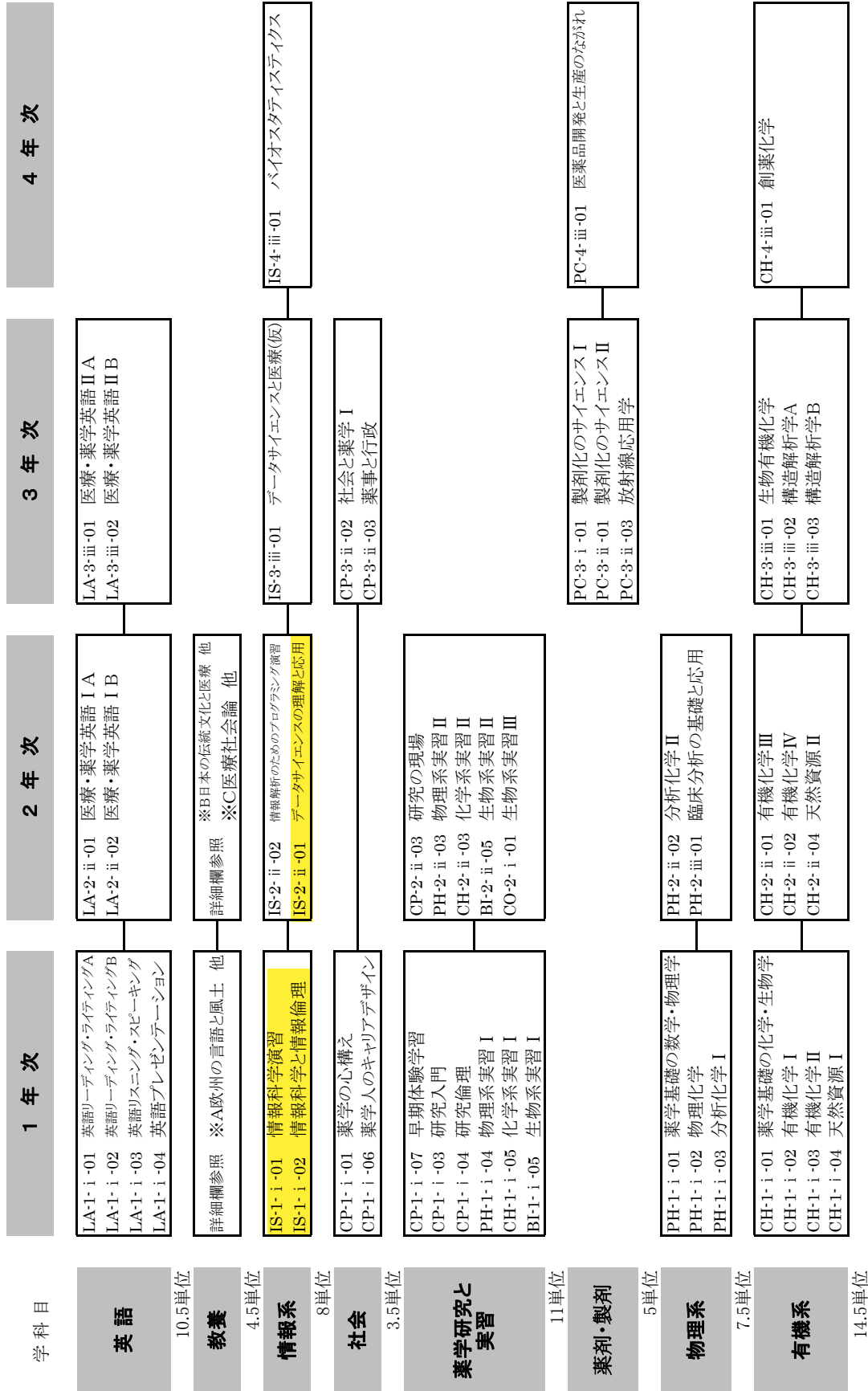
各科目のナンバリングは、『分類記号－開講学年－段階記号－通し番号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考にしてください。

分類記号 GE (General Education)
 LA (Language)
 IS (Information Science)
 PH (Physics)
 CH (Chemistry)
 BI (Biology)
 CO (Pharmacology)
 PC (Pharmaceutics)
 CL (Clinical Pharmacy)
 CP (Comprehensive Pharmacy)

： 教養系教育科目
 ： 語学教育科目
 ： 情報系教育科目
 ： 物理系薬学科目
 ： 化学系薬学科目
 ： 生物系薬学科目
 ： 薬理系薬学科目
 ： 薬剤系薬学科目
 ： 臨床系薬学科目
 ： 薬学全般科目(複数分類にまたがる科目を含む)

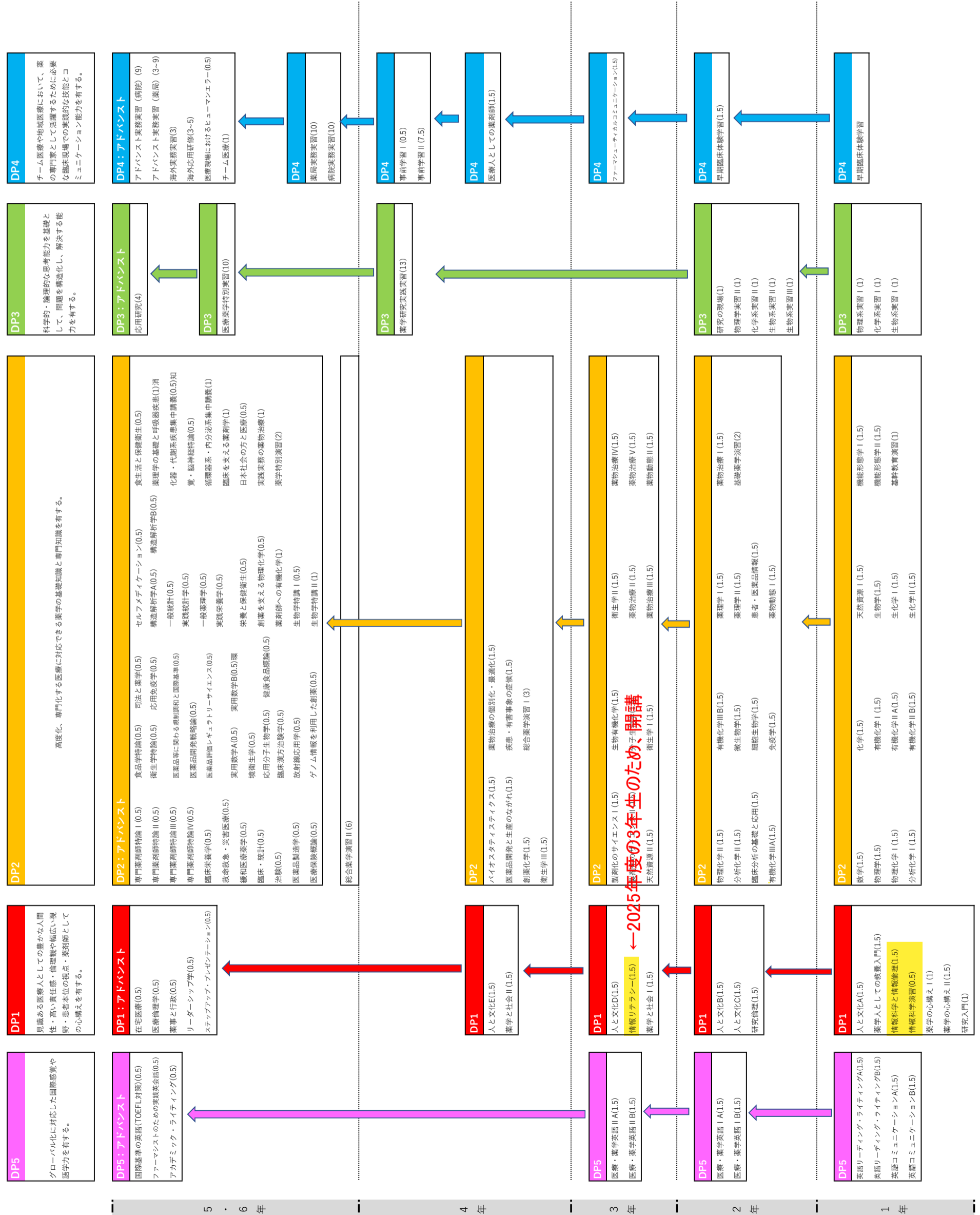
段階記号 i : 導入(基礎的な科目)
 ii : 展開(基礎科目を受けて開講する科目)
 iii : 先進(その分類における発展的な科目)

※ 選択必修科目(選必)
 * 選択科目(選択)

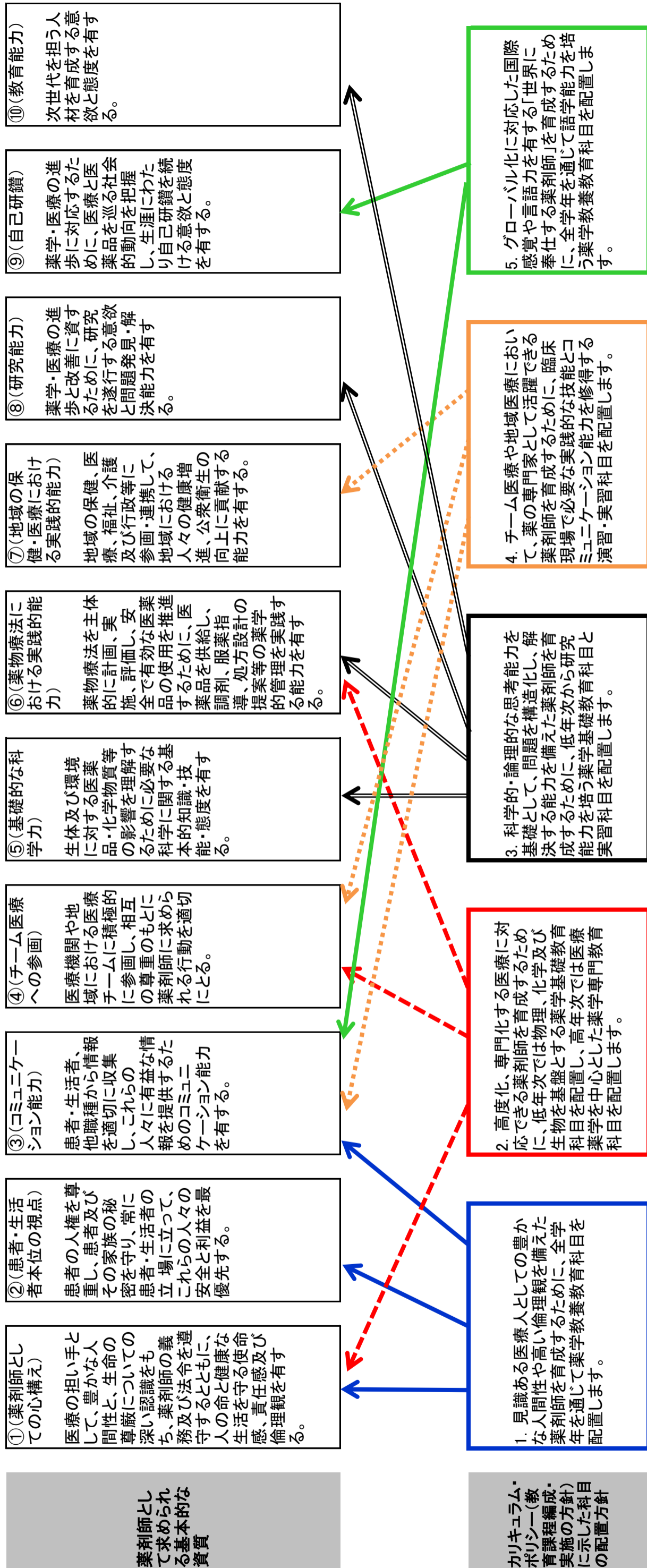


『人と文化』科目の詳細

GE-1-i-03	※A欧州の言語と風土
GE-1-i-04	※Aコミュニケーション概論
GE-1-i-05	※A倫理学概論
GE-1-i-06	※A西洋文明の形成と展開
GE-1-i-07	※A政治と医療
GE-1-i-08	※A医療心理学
GE-1-i-09	※A医療に隣接する社会分析
GE-1-i-10	※Aスポーツ実技
GE-1-i-11	※A医療コミュニケーション学
GE-2-i-01	※B日本の伝統文化と医療
GE-2-i-02	※B西洋医学の源流と文化
GE-2-i-03	※B現代社会と薬学
GE-2-i-04	※Bエンターテインメント
GE-2-i-05	※B心理学ゼミナール
GE-2-i-06	※B東洋の文化と芸術
GE-2-i-07	※B体育実技
GE-2-i-08	※B世界の統合医療とディジタルヘルスケア
GE-2-i-16	※B有用植物の歴史と応用
GE-2-i-17	※B数式・化学式細版プログラミング
GE-2-i-09	※C医療社会論
GE-2-i-10	※C生命倫理
GE-2-i-11	※C教育学ゼミナール
GE-2-i-12	※C法医学ゼミナール
GE-2-i-13	※C心の科学
GE-2-i-14	※Cスポーツ科学
GE-2-i-15	※C生活環境と科学
GE-2-i-18	※Cヘルスコミュニケーション学ゼミナール
GE-2-i-19	※C薬品物性基礎論
GE-3-i-01	※Dエロゾロジー論
GE-3-i-02	※D法医学概論
GE-3-i-03	※D薬粒子と放射線医療
GE-3-i-04	※D人間の発達
GE-3-i-05	※Dスポーツセラピー
GE-3-i-06	※D線形理論の医療への応用
GE-3-i-07	※D有用植物の歴史と応用



「薬剤師として求められる基本的な資質」と本学の「カリキュラム・ポリシー」



2025年度 創薬科学科(4年制)カリキュラム・マップ(1年生)

卒業に必要な単位数 125単位

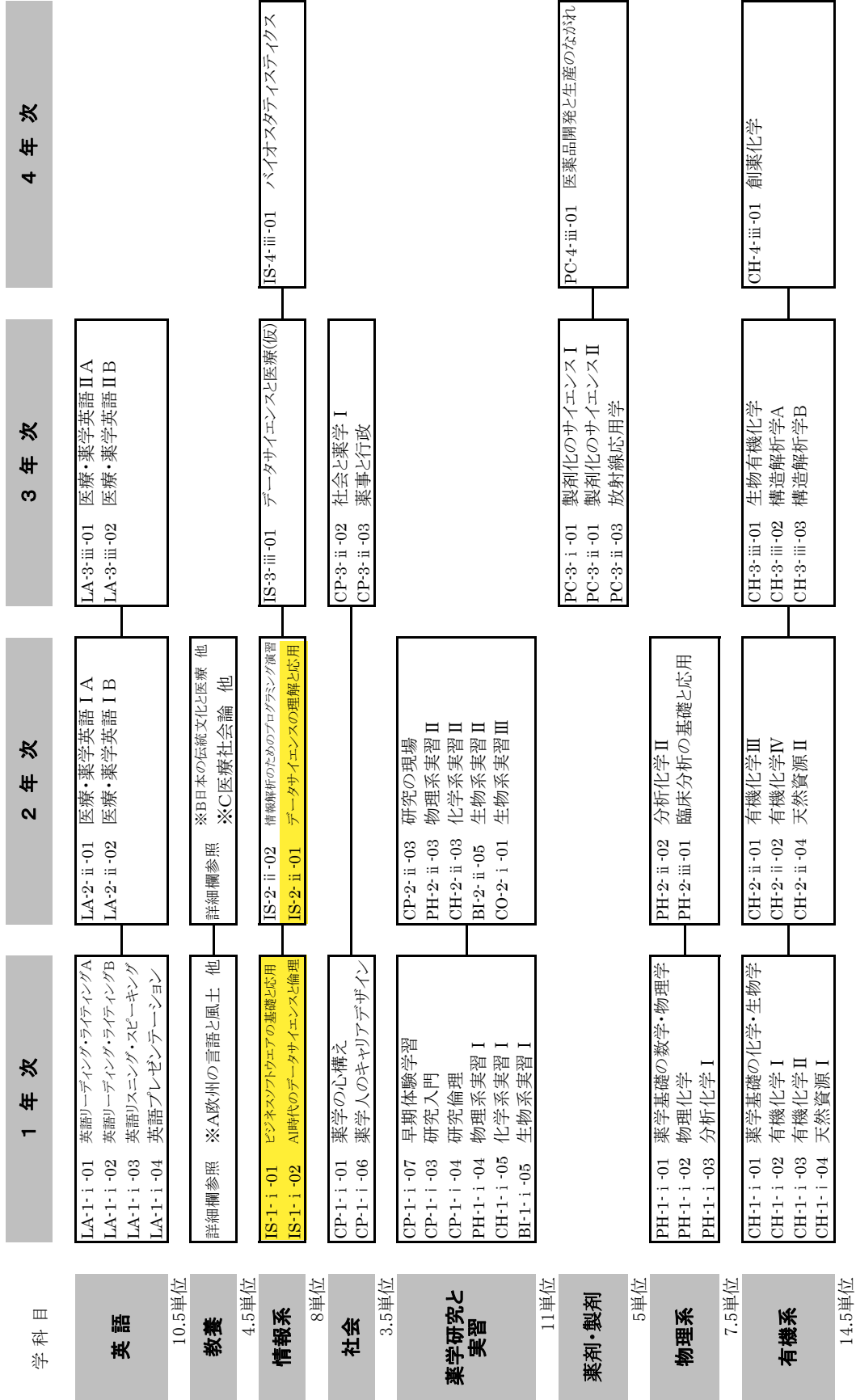
カリキュラムナンバー

各科目のナンバリングは、『分類記号—開講学年—段階記号—通し番号(学年別)』で構成されています。段階を踏んで学べるように科目を配置しておりますので、参考にしてください。

- 分類記号 (General Education)
 LA (Language)
 IS (Information Science)
 PH (Physics)
 CH (Chemistry)
 BI (Biology)
 CO (Pharmacology)
 PC (Pharmaceutics)
 CL (Clinical Pharmacy)
 CP (Comprehensive Pharmacy)
- ： 教養系教育科目
 ： 語学教育科目
 ： 情報系教育科目
 ： 物理系薬学科目
 ： 化学系薬学科目
 ： 生物系薬学科目
 ： 薬理系薬学科目
 ： 薬剤系薬学科目
 ： 臨床系薬学科目
 ： 薬学全般科目(複数分類にまたがる科目を含む)

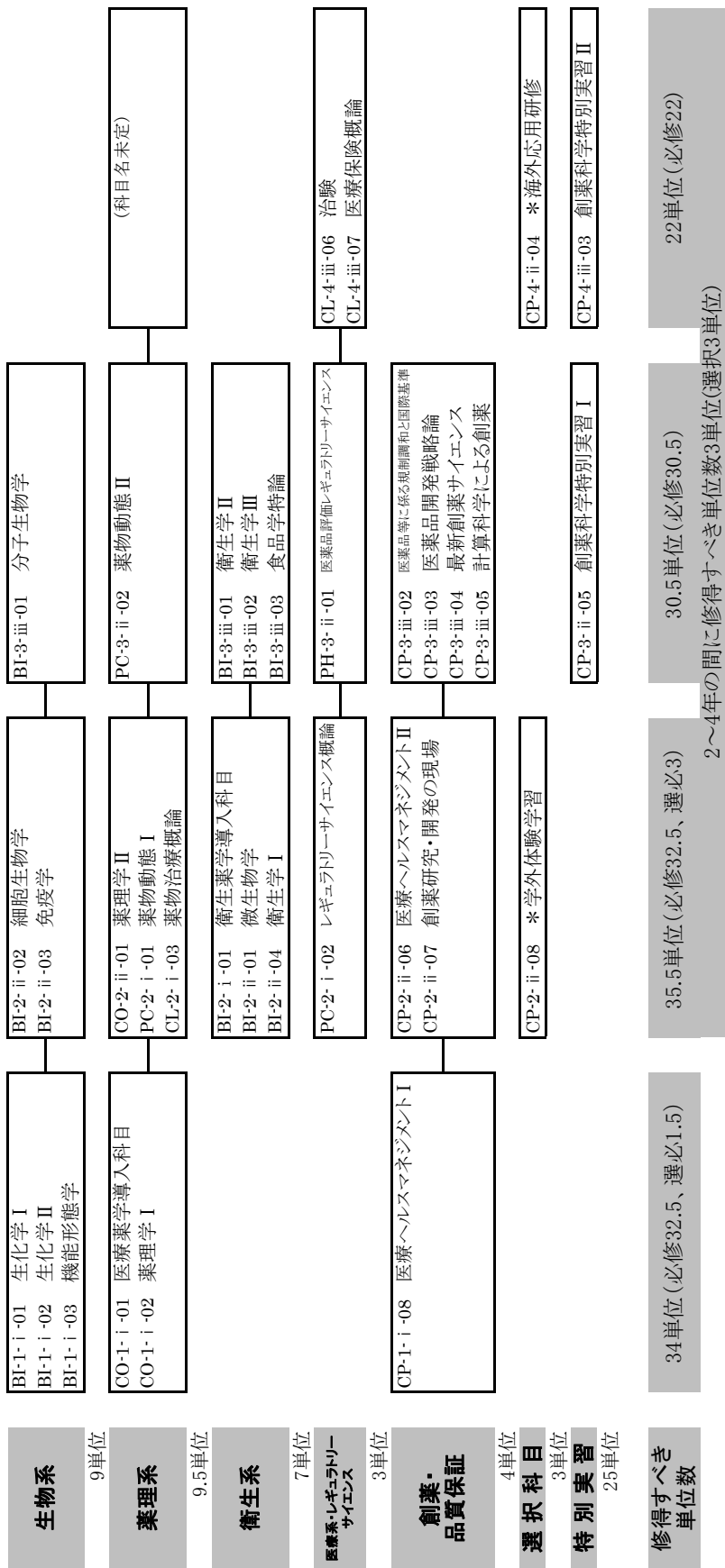
- 段階記号
 i : 導入(基礎的な科目)
 ii : 展開(基礎科目を受けて開講する科目)
 iii : 先進(その分類における発展的な科目)

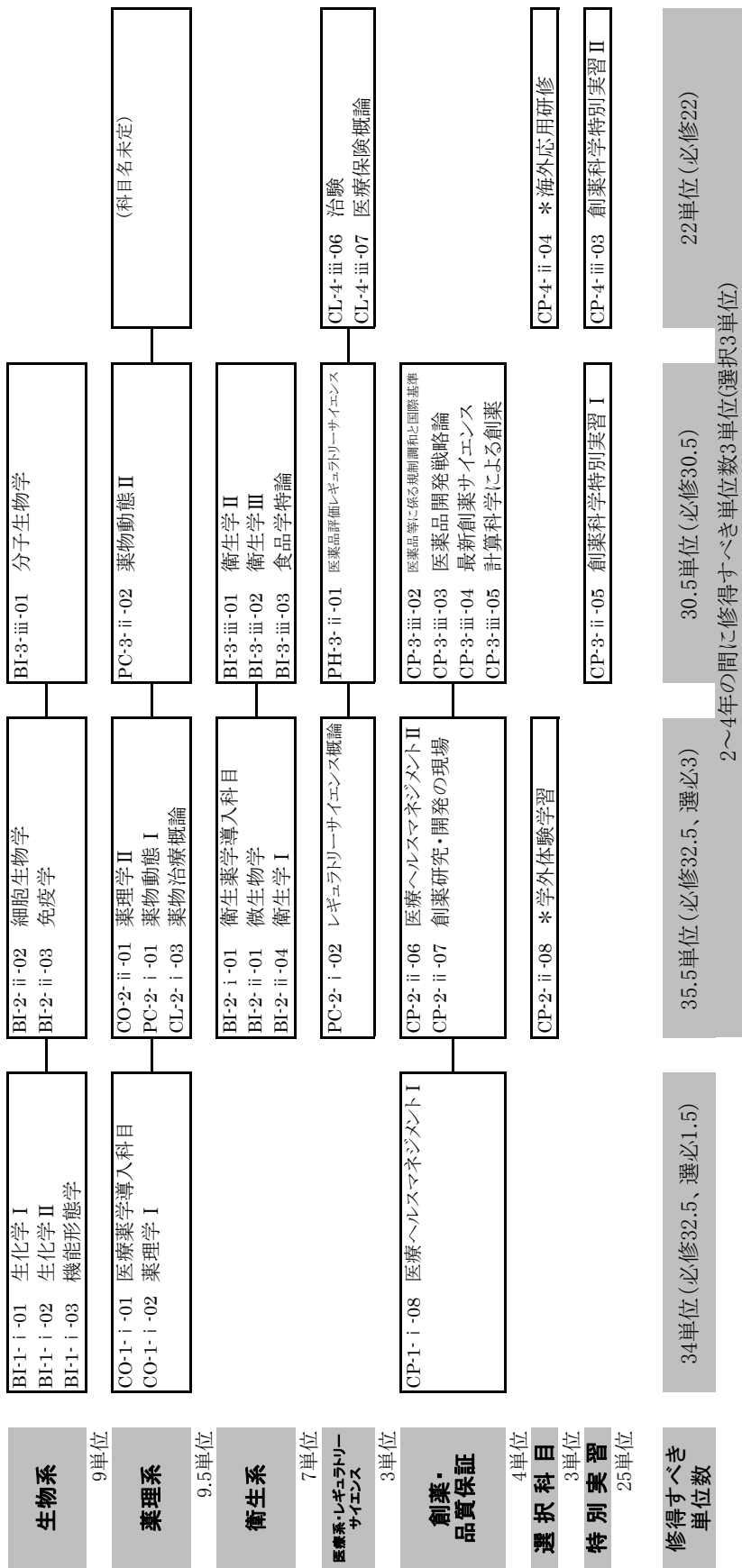
- ※ 選択必修科目(選必)
 * 選択科目(選択)



『人と文化』科目の詳細

GE-1-i-03	※A欧州の言語と風土
GE-1-i-04	※Aコミュニケーション概論
GE-1-i-05	※A倫理学概論
GE-1-i-06	※A西洋文明の形成と展開
GE-1-i-07	※A政治と医療
GE-1-i-08	※A医療心理学
GE-1-i-09	※A医療に隣接する社会分析
GE-1-i-10	※Aスポーツ実技
GE-1-i-11	※A医療コミュニケーション学
GE-2-i-01	※B日本の伝統文化と医療
GE-2-i-02	※B西洋医学の源流と文化
GE-2-i-03	※B現代社会と薬学
GE-2-i-04	※Bエンダー論
GE-2-i-05	※B心理学ゼミナール
GE-2-i-06	※B東洋の文化と芸術
GE-2-i-07	※B体育実技
GE-2-i-08	※B世界の統合医療とメディカルプロフェッショナル
GE-2-i-16	※B有用植物の歴史と応用
GE-2-i-17	※B数式・化学式組版プログラミング
GE-2-i-09	※C医療社会論
GE-2-i-10	※C生命倫理
GE-2-i-11	※C教育学ゼミナール
GE-2-i-12	※C法学ゼミナール
GE-2-i-13	※C心の科学
GE-2-i-14	※Cスポーツ科学
GE-2-i-15	※C生活環境と科学
GE-2-i-18	※Cヘルソコミュニケーション学ゼミナール
GE-2-i-19	※C薬品物性基礎論
GE-3-i-01	※Dエロゾー論
GE-3-i-02	※D法学概論
GE-3-i-03	※D薬粒子と放射線医療
GE-3-i-04	※D人間の発達
GE-3-i-05	※Dスポーツセラピー
GE-3-i-06	※D線形理論の医療への応用
GE-3-i-07	※D有用植物の歴史と応用





2025年度 創薬科学科(1・2年生) ディプロマ・ポリシー対応表／実務経験のある教員担当科目

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

創薬科学科は「薬学の基礎として生命・健康を科学し、医薬品や食品等の開発・品質保証に携わる人材を育成する」という教育目的を達成するために、次に掲げる4つの資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士(薬科学)の学位を授与する。

- 1.豊かな生活を送るための文化や自然に関する知識と、生命・健康を科学するためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力、情報処理力を獲得する。
- 2.医薬品や食品等の開発や品質保証の専門家として求められる自己管理能力、チームワーク力、倫理観、社会的責任感を修得する。
3. 医薬品や食品等の開発や品質保証の専門家として活躍するために必要な研究遂行能力と課題発見・問題解決能力、さらには生涯にわたって主体的に学習しようという意志をもつ。
4. 医薬品や食品等の開発や品質保証に必要な知識と技術を身に付ける。

○:該当する

△:一部該当する

薬学準備教育科目（26.5単位）

●:実務経験のある教員担当科目

学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	実務経験
英語	英語リーディング・ライティングA	1.5	1年前期	○				
	英語リーディング・ライティングB	1.5	1年後期	○				
	英語リスニング・スピーキング	1.5	1年前期	○				
	英語プレゼンテーション	1	1年後期	○				
	医療・薬学英語 I A	1.5	2年前期	○				
	医療・薬学英語 I B	1.5	2年後期	○				
	医療・薬学英語 II A	1	3年前期	○				
	医療・薬学英語 II B	1	3年後期	○				
教養	A欧州の言語と風土	1.5	1年後期	○				
	Aコミュニケーション概論	1.5	1年後期	○				
	A倫理学概論	1.5	1年後期	○				
	A西洋文明の形成と展開	1.5	1年後期	○				
	A政治と医療	1.5	1年後期	○				
	A医療心理学	1.5	1年後期	○				
	A医療に隣接する社会分析	1.5	1年後期	○				●
	Aスポーツ実技	1.5	1年後期	○				
	A医療コミュニケーション学	1.5	1年後期	○	○	△		
	B日本の伝統文化と医療	1.5	2年前期	○	△			
	B西洋医学の源流と文化	1.5	2年前期	○				
	B世界の統合医療とメディカルアロマセラピー	1.5	2年前期	○				
	B現代社会と薬学	1.5	2年前期	○				
	Bジェンダー論	1.5	2年前期	○				
	B心理学ゼミナール	1.5	2年前期	○				
	B東洋の文化と芸術	1.5	2年前期	○				
	B体育実技	1.5	2年前期	○				
	B有用植物の歴史と応用	1.5	2年前期	○				
	B数式・化学式組版プログラミング	1.5	2年前期	○				
	C医療社会論	1.5	2年後期	○				
	C生命倫理	1.5	2年後期	○		△		
	C教育学ゼミナール	1.5	2年後期	○				
	C法学ゼミナール	1.5	2年後期	○				
	C心の科学	1.5	2年後期	○				
	Cスポーツ科学	1.5	2年後期	○				
	C生活環境と科学	1.5	2年後期	○	○	○	△	

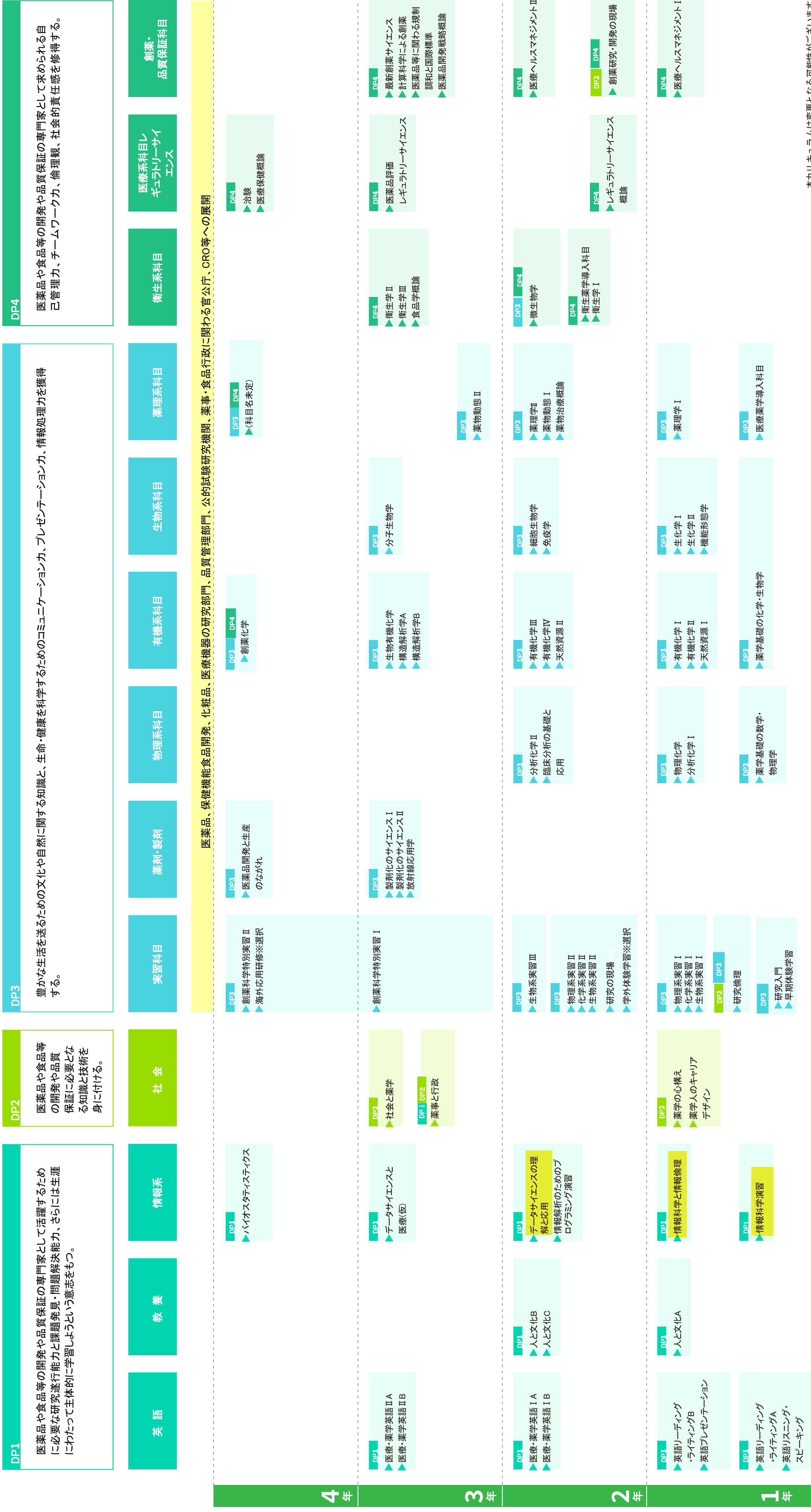
学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	実務経験
教養	Cヘルスコミュニケーション学ゼミナール	1.5	2年後期	○	○	○		
	C薬品物性基礎論	1.5	2年後期	○				
情報系	ビジネスソフトウェアの基礎と応用(1年生)	0.5	1年前期					
	AI時代のデータサイエンスと倫理(1年生)	1.5	1年後期					
	情報科学演習(2年生)	0.5	1年前期	○		△		
	情報科学と情報倫理(2年生)	1.5	1年後期	○				
	情報解析のためのプログラミング演習	1.5	2年前期	○				
	データサイエンスの理解と応用	1.5	2年後期	○	○			
	データサイエンスと医療(仮)	1.5	3年前期	○				
	バイオスタティスティクス	1.5	4年前期	○				●
社会	薬学の心構え	1	1年前期		○			●
	薬学人のキャリアデザイン	0.5	1年後期		○			●
	薬事と行政	0.5	3年前期	○	○			
	社会と薬学	1.5	3年後期		○			

薬学専門教育科目 (98.5単位)

学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	実務経験
薬学研究と実習	早期体験学習	0.5	1年前期			○		
	研究入門	1	1年前期	○	○	○		
	研究倫理	1.5	1年後期		○	○		
	研究の現場	1.5	2年前期			○		
	物理系実習 I	(1)	1年	○	○	○		
	物理系実習 II	(1)	2年前期	○	○	○		
	化学系実習 I	(1)	1年	○	○	○		
	化学系実習 II	(1)	2年前期	○	○	○		
	生物系実習 I	(1)	1年	○	○	○		
	生物系実習 II	(1)	2年前期		○	○		
	生物系実習 III	(1)	2年後期		○	○		
薬剤・製剤	製剤化のサイエンス I	1.5	3年前期			○		
	製剤化のサイエンス II	1.5	3年後期			○		
	医薬品開発と生産のながれ	1.5	4年前期			○		
	放射線応用学	0.5	3年前期			○		
物理系	薬学基礎の数学・物理学	1.5	1年前期			○		
	物理化学	1.5	1年後期			○	○	
	分析化学 I	1.5	1年後期			○		
	分析化学 II	1.5	2年前期			○	○	
	臨床分析の基礎と応用	1.5	2年後期			○	○	
有機系	薬学基礎の化学・生物学	1.5	1年前期	○		○		
	有機化学 I	1.5	1年前期	○		○		
	有機化学 II	1.5	1年後期	○		○		
	有機化学 III	1.5	2年前期	△	△	○		
	有機化学 IV	1.5	2年後期	○	○	○		
	天然資源 I	1.5	1年前期	△		○	○	
	天然資源 II	1.5	2年前期		○	○		
	生物有機化学	1.5	3年後期			○		
	創薬化学	1.5	4年前期				○	
	構造解析学 A	0.5	3年後期			○		
	構造解析学 B	0.5	3年後期			○		
生物系	生化学 I	1.5	1年前期			○		
	生化学 II	1.5	1年後期		○	○		
	機能形態学	1.5	1年前期	△		○	○	

学科目	科目名	単位数	開講	ホ ^o リシ-1	ホ ^o リシ-2	ホ ^o リシ-3	ホ ^o リシ-4	実務経験
生物系	細胞生物学	1.5	2年前期			○		
	免疫学	1.5	2年後期			○		
	分子生物学	1.5	3年前期			○		
薬理系	医療薬学導入科目	0.5	1年前期			○		●
	薬理学Ⅰ	1.5	1年後期		○	○		
	薬理学Ⅱ	1.5	2年前期			○		
	薬物動態Ⅰ	1.5	2年後期			○		
	薬物動態Ⅱ	1.5	3年前期			○		
	(科目名未定)	1.5	4年前期				○	
	薬物治療概論	1.5	2年後期			○		●
衛生系	衛生薬学導入科目	0.5	2年前期				○	
	微生物学	1.5	2年前期	○			○	
	衛生学Ⅰ	1.5	2年後期				○	
	衛生学Ⅱ	1.5	3年前期				○	
	衛生学Ⅲ	1.5	3年後期				○	
	食品学特論	0.5	3年前期				○	
医療系・ レギュトリーサイエンス	レギュトリーサイエンス概論	1.5	2年後期		○		○	●
	医薬品評価レギュトリーサイエンス	0.5	3年前期				○	●
	治験	0.5	4年前期				○	●
	医療保険概論	0.5	4年前期				○	●
創薬・品質保証	医療ヘルスマネジメントⅠ	0.5	1年前期	○	△		○	
	医療ヘルスマネジメントⅡ	1	2年後期	△	△		○	
	創薬研究・開発の現場	0.5	2年後期		○		○	
	医薬品等に係る規制調和と国際基準	0.5	3年後期				○	
	医薬品開発戦略論	0.5	3年後期				○	
	最新創薬サイエンス	0.5	3年後期				○	
	計算科学による創薬	0.5	3年後期				○	
選択科目	学外体験学習	4	2年前期			○		●
	海外応用研修	3	4年前期			○		
特別実習	創薬科学特別実習Ⅰ	(10)	3年			○		
	創薬科学特別実習Ⅱ	(15)	4年			○		

2025年度 創薬科学科 カリキュラムツリー(2年生)



医薬品、保健機能食品開発、化粧品、医療機器の研究部門、品質管理部門、公的試験研究機関、薬事・食品行政に関わる官公庁、CRO等への展開

- 英語
- 教養
- 情報系
- 社会
- 実習科目
- 薬剤・製剤
- 物理系科目
- 有機系科目
- 生物系科目
- 薬理系科目
- 衛生系科目
- 創薬・品質保証科目

本カリキュラムは変更となる可能性があります

薬学研究・実習 9単位	<p>CP-1-i-03 研究入門 CH-1-i-52 創薬系実習 I (化学実習) BI-1-i-53 創薬系実習 II (生物学実習 I)</p> <p>PH-2-i-51 創薬系実習 III (物理学実習) CO-2-i-51 創薬系実習 IV (生物学実習 II)</p>
演習 1単位	CP-3・4-iii-58 創薬ゼミ
選択科目 7.5単位	<p>CP-3-iii-52 * coursera I CP-3-iii-53 * coursera II 薬学科の専門科目</p> <p>CP-4-iii-51 *新規創薬モダリティと臨床開発 薬学科の専門科目</p>
特別実習 31単位	<p>CP-3・4-iii-54 創薬科学特別実習 CP-3・4-iii-56 学外体験学習 I CP-3・4-iii-55 ※アドバンス創薬科学特別実習 CP-3・4-iii-57 ※学外体験学習 II</p>
修得すべき単位数	<p>34.5単位(必修34.5)</p> <p>36.5単位(必修36.5)</p> <p>5.5単位(必修5.5)</p> <p>3単位(必修3)</p> <p>1～4年の間に修得すべき選択必修科目 6単位 3・4年の科目で 39.5単位(必修21、選択7.5)</p>

2025年度 創薬科学科(3年生以上) ディプロマ・ポリシー対応表／実務経験のある教員担当科目

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

創薬科学科は4年以上在学し、創薬科学科3つのポリシーの基本方針の下に「薬学の基礎として生命・健康を科学し、創薬研究・開発に携わる人材の育成」という本学科の教育目的を達成するために編成された授業科目を履修し、次に掲げる6つの能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士(薬科学)の学位を授与する。

1. 医療を含む生命科学領域に関わるための広い教養を身に付け、生命や健康に対する高い倫理観を身に付けている。
2. 医薬品や機能性素材などの創製に必要な基礎知識と高度な専門知識と技術を身に付けている。
3. 医療を含む生命科学領域で活躍するために必要となるコミュニケーション能力並びにプレゼンテーション能力を身に付けている。
4. 人々の健康に携わり、広く社会に貢献しうる人材に必要な技能や態度を身に付けている。
5. 人を支援する専門的かつ協働的な実践力を身に付け、人々の健康と福祉の向上に貢献できる起業家となり得る能力を身に付けている。
6. 自ら設定した研究課題に対して、適切な手法を選択し、解決に導く方法を身に付けている。

○:該当する
△:一部該当する

薬学準備教育科目（42単位）

●:実務経験のある教員担当科目

学科目	科目名	単位数	開講	ポリシー1	ポリシー2	ポリシー3	ポリシー4	ポリシー5	ポリシー6	実務経験
薬学と教養	薬学人としての教養入門	1.5	1年前期	○		○				
	薬学の心構え	1	1年前期	○						●
薬学と教養	現代日本と起業	1	1年前期	○		○	○	○		●
	医薬・ヘルスケアマネジメント プラクティスⅠ	1	1年前期	○	△			○		
	医薬・ヘルスケアマネジメント プラクティスⅡ	0.5	2年前期	○	△			○		
	ケーススタディ経営学	1	3年前期	○			○	○		●
	経済学・経営学の基礎	1.5	1年後期	○				○		
	医療経営論	1.5	2年前期	○				○		
	医療ビジネスマネジメント論	1	2年後期	○			○	○		●
	薬事関連法・制度	1.5	2年前期	○		○	○	○		
	キャリアプランゼミⅠ	1	1年後期	○		○	○	○		
	キャリアプランゼミⅡ	0.5	2年後期	○		○	○	○		
	キャリアプランゼミⅢ	0.5	3年後期	○		○	○	○		
キャリアプランゼミⅣ	1	4年後期	○		○	○	○			
人と文化	A欧州の言語と風土	1.5	1年後期	○						
	Aコミュニケーション概論	1.5	1年後期	○						
	A倫理学概論	1.5	1年後期	○						
	A西洋文明の形成と展開	1.5	1年後期	○						
	A政治と医療	1.5	1年後期	○						
	A医療心理学	1.5	1年後期	○						
	A医療に隣接する社会分析	1.5	1年後期	○						●
	Aスポーツ実技	1.5	1年後期	○						
	B日本の伝統文化と医療	1.5	2年前期	○		△				
	B西洋医学の源流と文化	1.5	2年前期	○						
	B医療哲学ゼミナール	1.5		○		△				
	B現代社会と薬学	1.5	2年前期	○						
	Bジェンダー論	1.5	2年前期	○						
	B心理学ゼミナール	1.5	2年前期	○						
	B東洋の文化と芸術	1.5	2年前期	○						
	B体育実技	1.5	2年前期	○						
	C医療社会論	1.5	2年後期	○						
	C生命倫理	1.5	2年後期	○		△				
	C教育学ゼミナール	1.5	2年後期	○						
	C法学ゼミナール	1.5	2年後期	○					○	
	C心の科学	1.5	2年後期	○						
	Cスポーツ科学	1.5	2年後期	○						
	C生活環境と科学	1.5	2年後期	○		○				
	Cヘルスコミュニケーション学ゼミナール	1.5	2年後期	○	○	○				

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	ホリシ-6	実務経験
人と文化	Dロジカルライティング	1.5		○		△				
	Dエコロジー論	1.5	3年後期	○						
	D法学概論	1.5	3年後期	○					○	
	D素粒子と放射線医療	1.5	3年後期	○		○				
	D人間の発達	1.5	3年後期	○				△		
	Dスポーツセラピー	1.5	3年後期	○						
	D線形理論の医療への応用	1.5	3年後期	○	○					
	E外国からみた日本	1.5	4年前期	○						
	Eアジアの人と文化	1.5	4年前期	○		△				
	E国際倫理学	1.5	4年前期	○						
	E国際ジャーナリズム	1.5	4年前期	○						
	E世界の法と経済	1.5	4年前期	○					○	
	E微分方程式の医療への応用	1.5	4年前期	○						
	E世界の統合医療とメディカルアロマセラピー	1.5	4年前期	○				△		
	E有用植物の歴史と応用	1.5	4年前期	○						
薬学英語	総合英語 I A	1.5	1年前期			○				
	総合英語 I B	1.5	1年後期			○				
	総合英語 II A	1.5	2年前期			○				
	総合英語 II B	1.5	2年後期			○				
	科学英語 I	1	3年前期			△		○		
	科学英語 II	1.5	3年後期			△		○		
	ビジネス英語	1.5	4年前期			△		○		
	英語リスニング・スピーキングA	1.5	1年前期			○				
	英語リスニング・スピーキングB	1.5	1年後期			○				
	英語プレゼンテーションA	1.5	2年前期			△		○		
	英語プレゼンテーションB	1.5	2年後期			△		○		
情報科学	情報科学と情報倫理	1.5	1年前期	○						
	情報科学演習	0.5	1年後期	○		△				
	現代の情報技術	1.5	2年後期	○				○		
	情報リテラシー	1.5	2年前期	○						
	実践統計学	0.5	4年前期	○						

←2025年度の3年生のため、開講

薬学専門教育科目 (83単位)

学科目	科目名	単位数	開講	ホリシ-1	ホリシ-2	ホリシ-3	ホリシ-4	ホリシ-5	ホリシ-6	実務経験
物理系薬学	数学	1.5	1年前期	○	○					
	物理学	1.5	1年前期	○	○					
	基礎分析化学	1.5	1年後期		○					
	機器分析化学	1.5	2年前期		○					
	分子イメージング	1.5	2年後期		○	○	○			
	応用製剤学	1.5	2年前期		○	○	○		○	
	レギュラトリーサイエンス概論	1.5	2年後期		○		○			●
化学系薬学	化学	1.5	1年前期	○	○					
	有機化学概論 I	1.5	1年後期		○					
	有機化学概論 II	1.5	2年前期		○					
	天然物化学	1.5	2年後期		○					
生物系薬学	☆生物学	1.5	1年前期	○	○					
	創薬資源植物学	1.5	1年前期	○	○					
	生体分子学	1.5	1年後期	○	○					
	微生物学概論	1.5	1年前期		○					
	遺伝子工学	1.5	2年後期		○					
	分子細胞生物学	1.5	2年前期		○		○			
	毒性学	1.5	2年後期		○		○	○		
	衛生薬学概論	1.5	2年後期		○		○	△		
医療薬学	基礎生理学	1.5	1年前期	○	○					
	基礎薬理学	1.5	1年後期		○		○	○		
	疾患薬理学	1.5	2年前期		○		○	○		
	生物薬剤学	1.5	2年後期		○		○	○		
薬学研究・実習	研究入門	1	1年前期				○		○	
	創薬系実習 I (化学実習)	(2)	1年後期				○		○	

学科目	科目名	単位数	開講	ホリス-1	ホリス-2	ホリス-3	ホリス-4	ホリス-5	ホリス-6	実務経験
薬学研究・実習	創薬系実習Ⅱ(生物学実習Ⅰ)	(2)	2年後期				○		○	
	創薬系実習Ⅲ(物理学実習)	(2)	2年前期				○		○	
	創薬系実習Ⅳ(生物学実習Ⅱ)	(2)	2年後期				○		○	
演習	創薬ゼミ	1	3・4年前期		○		○	○		
選択科目	courseraⅠ		3年前期		○	△				
	courseraⅡ		3年後期		○	△				
	新規創薬モデリティーと臨床開発	1	4年前期	○	○					
特別実習	創薬科学特別実習	(12)	3～4年			○			○	
	学外体験学習Ⅰ	(9)	3～4年	○	○	○	○	○		●
	※アドバンス創薬科学特別実習	(10)	3～4年			○			○	
	※学外体験学習Ⅱ	(10)	3～4年	○	○	○	○	○		●

大学等名	星薬科大学	リテラシーレベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	HOSHI 数理データサイエンスAI教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組概要

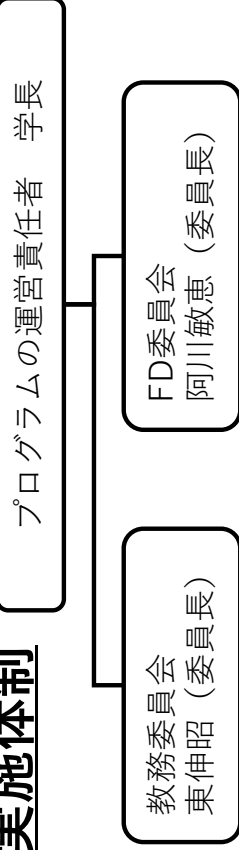
プログラムの目的

本プログラムは、全学の学生に対し、データサイエンスとAIに関する基礎的なリテラシーを修得させることを目的としています。薬学分野においても、データを的確に読み取り活用できる能力を育成します。また、情報倫理やAIの仕組みに関する理解を深め、社会的責任を伴う判断力を養います。

学修成果

学生は、データの基本的な扱い方や可視化、簡単な分析手法を理解し、活用できるようになります。AIの基本的な概念や活用例を理解し、情報の信頼性や倫理的側面にも配慮した判断ができるようになります。与えられた課題に対して、論理的に考え、データを用いた説明や提案ができる力を身につけます。薬学の専門知識と組み合わせ、エビデンスに基づく実践的な行動がとれる人材となることが期待されます。

実施体制



自己点検・評価の実施体制

本学におけるリテラシーレベルプログラムの自己点検・評価は、以下の体制で実施しています。

- ・教務委員会およびFD委員会が、プログラム全体の評価を実施します。各授業では、授業評価アンケートをもとに、授業の質や学修成果を点検します。
- ・授業担当教員は、各自の授業における授業評価アンケート結果を確認し、改善計画を作成・実施します。

FD委員会は、教員全体の授業改善活動を統括し、優れた実践の共有や研修の企画・実施を行います。

学長・学部長レベルでは、これらの活動報告をもとに、教育課程全体の質保証および改善方針を確認し、必要に応じて組織的な対応を指示します。

対象科目と修了要件

- ◆情報科学演習(1年次)
- ◆**ビジネスソフトウェアの基礎と応用 (1年次) (0.5単位)**
- ◆情報科学と情報倫理(1年次)
- ◆**AI時代のデータサイエンスと倫理 (1年次) (1.5単位)**
- ◆情報リテラシー(3年次)
- ◆**データサイエンスの理解と応用 (2年次) (1.5単位)**

★修了要件★

上記、3科目の合計3.5単位を取得すること。

※薬学科、創薬科学科で要件は共通

※2025年度は経過措置で情報リテラシー (3年次) も開講